

2026 年度

通信教育実施計画

【新村キャンパス】

松商学園高等学校 通信制課程

新村キャンパス（定員 180 名）

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

電話 0263-48-7285

online@matsusho-h.ed.jp

www.matsusho-h.ed.jp/online-course/

もくじ

教育目標・日課表	2
行事予定表	4
教育課程表	8
前期スクーリング時間割	9
後期スクーリング時間割	17
シラバス	25
特別活動	109

スクールミッション

地域に誇れる持続可能な学校を目指して、常に考え続けて行動し、自分の能力と可能性を信じて品性を磨き保ち続けていく自主独立の精神を土台に、普遍的教育と新しい時代の資質・能力を養う教育を行い、予測困難な時代において自らの幸せを追求でき、社会に貢献できる人材を育成する。

育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

常に考えて行動し、自分の可能性を信じて品性を磨き保ち続ける人物を養成する本校の教育目標に基づいた教育を行う。多面的で複雑化した社会において自立できる力を具えた人物を育成するために、課題を抽出し探究する力、課題に他者と協働して向かう力、主体的に探究する力を育てる。

- ①課題発見、解決の基礎となる知識・技能を身につけている。
 - ・基本的な知識・技能の修得
 - ・自ら学ぶ姿勢
- ②学びを活用するための思考力を持ち、他者を尊重した上で自身の考えを伝える能力を身につけている。
 - ・多様性を理解した上での自己表現
 - ・受容・共感
- ③自身のキャリア観を描き、主体的に行動する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を有している。
 - ・自己肯定感
 - ・継続できる力
 - ・自己管理能力

教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

心身の成長が著しい高等学校段階では、義務教育の基礎の上で確実に基本的な知識・技能を修得することが大切である。さらに、長い人生を通じ、社会を支えつつ支えられる存在として自立できる生き方の基盤を築く必要がある。そのために、本校では自らの在り方生き方を考え、将来の進路を選択する能力や態度の育成を大切にする。育成を目指す資質・能力に関する方針に掲げる能力を身につけるために、具体的に次の2点に基づいて教育課程を編成・実施する。

- ①教育内容・編成
 - ・自ら学びたいと希望する生徒が「いつでも、どこでも、だれでも」学習を継続できる機会

を設ける。

- ・常に先の時代を見据え、必要となる基礎的知識・技能を獲得するための科目を編成する。
- ・他者との協働的学びを通じて思考・判断した結果を表現する機会を設ける。
- ・各科目は、学期ごとに学習できるように定める（一部科目を除く）。
- ・「キャリア講座」を設定し、社会において自立した個人として生活を構築できる力を養う。
- ・同一法人の松本大学・松本大学松商短期大学部での学習に繋がる教育課程を編成する。

②教育方法・実施

- ・知識・技能の定着を高めるために、ICTを用いた双方向型の授業を展開し、習得した知識・技能は定期的に生徒が振り返りを行う。
- ・面接指導ではグループワークやプレゼンテーションの機会を提供し、知識・技能を活用した探究を促す。
- ・特別活動では各授業で学んだ理論を統合して、実践的に社会問題や自身のキャリアとして活用・体験する機会を提供する。

生徒募集方針(アドミッション・ポリシー)

自立を志す気持ちと、学びへの意欲、探究心をもち、継続して学習に取り組む生徒を歓迎する。具体的には次の項目を満たす人を求める。

- ①本校の学習方法を十分に理解し、その学習方法により継続的に学びたいと考えている。
- ②高等教育機関への進学や、就職を目指したいと望んでいる。
- ③スポーツ、文化などの活動を行いながら、学習との両立を目指したいと考えている。
- ④高等学校での学習を継続することが可能な学力を有している。
- ⑤通信教育課程の学習の基礎となる知識・技能を身につけている。
- ⑥知識や技能を活用して諸課題について考察し、自分の考えを表現し、伝えようとすることができる。
- ⑦社会に関心があり、社会規範を遵守しながら他者とかかわり学び続けようとする意欲を有している。

日課表

1 時限	9:20～10:10
2 時限	10:20～11:10
3 時限	11:20～12:10
昼休／SHR	12:10～13:10
4 時限	13:10～14:00
5 時限	14:10～15:00
6 時限	15:10～16:00
7 時限	16:10～17:00

令和7(2025)年度 年間行事予定表

松商学園高等学校通信制課程

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1	水	1	金	1	月	1	水	1	土	1	火
					◎ 転入生履修オリエンテーション		◎ 転入生履修オリエンテーション		×		◎ 転入生履修オリエンテーション
2	木	2	土	2	火	2	木	2	日	2	水
		×					○ 前期⑤標準		×		● 前期定期試験再試験
3	金	3	日	3	水	3	金	3	月	3	木
		×	憲法記念日				○ 前期⑤標準				
4	土	4	月	4	木	4	土	4	火	4	金
×		×	みどりの日		○ 前期③標準		×		○ 前期特別スクーリング		
5	日	5	火	5	金	5	日	5	水	5	土
×		×	こどもの日		○ 前期③標準		×		○ 前期特別スクーリング		×
6	月	6	水	6	土	6	月	6	木	6	日
◎ 前期入学式		×	振替休日		×				○ 前期特別スクーリング		×
7	火	7	木	7	日	7	火	7	金	7	月
			○ 前期①標準		×		◎ 学習会(本校)		● 3年前期定試再試験		
8	水	8	金	8	月	8	水	8	土	8	火
			○ 前期①標準		◎ 学習会(本校)				×		中学校教員向け説明会
9	木	9	土	9	火	9	木	9	日	9	水
◎ 在校生 オリエンテーション		×					◎ 特別活動候補日		×		前期成績・単位認定会議
10	金	10	日	10	水	10	金	10	月	10	木
◎ 新入生 履修オリエンテーション		×					◎ 特別活動候補日 ○ 1年体育標準スクーリング		×	8/23振替	
11	土	11	月	11	木	11	土	11	火	11	金
×					◎ 特別活動候補日		×		×	山の日	入試説明会(長野)
12	日	12	火	12	金	12	日	12	水	12	土
×					◎ 特別活動候補日		×		×	11/7振替	×
13	月	13	水	13	土	13	月	13	木	13	日
					×						×
14	火	14	木	14	日	14	火	14	金	14	月
			◎ 特別活動候補日		×						
15	水	15	金	15	月	15	水	15	土	15	火
			◎ 特別活動候補日								◎ 在校生履修 オリエンテーション
16	木	16	土	16	火	16	木	16	日	16	水
◎ 特別活動候補日 ※(在校生遠足)		×					○ 前期⑥標準 ※				◎ 在校生履修 オリエンテーション
17	金	17	日	17	水	17	金	17	月	17	木
(通信)職員会議		×					○ 前期⑥標準		3年前期成績・単位 認定会議		※ 後履修登録期限 入試説明会(伊那)
18	土	18	月	18	木	18	土	18	火	18	金
× 開校記念日					○ 前期④標準 ※ 第1回学校説明会Web		×		● 前期定期試験 ◎ 避難訓練		
19	日	19	火	19	金	19	日	19	水	19	土
×					○ 前期④標準		×		● 前期定期試験		×
20	月	20	水	20	土	20	月	20	木	20	日
					◎ 特別活動候補日		×	海の日	● 前期定期試験		×
21	火	21	木	21	日	21	火	21	金	21	月
			○ 前期②標準 ※		×						×
22	水	22	金	22	月	22	水	22	土	22	火
			○ 前期②標準		×						×
23	木	23	土	23	火	23	木	23	日	23	水
◎ 新入生ガイダンス PC設定等		◎ 特別活動候補日 (新入生遠足)					◎ 学習会(新村) 授業見学会・学校説明会		第2回学校説明会		×
24	金	24	日	24	水	24	金	24	月	24	木
◎ 新・転入生ガイダンス PC設定等		×					◎ 学習会(新村) 授業見学会・学校説明会				(通信)職員会議
25	土	25	月	25	木	25	土	25	火	25	金
×					◎ 特別活動候補日		×	× 24日レポート・視察報告書締	保護者懇談会①		◎ 転入生 履修オリエンテーション
26	日	26	火	26	金	26	日	26	水	26	土
×					◎ 特別活動候補日				保護者懇談会②		◎ 転入生 履修オリエンテーション
27	月	27	水	27	土	27	月	27	木	27	日
					×		○ 前期集中スクーリング①		保護者懇談会③		◎ 転入生 履修オリエンテーション
28	火	28	木	28	日	28	火	28	金	28	月
			◎ 特別活動候補日 ◎ 学習会(新村)		×		○ 前期集中スクーリング②		保護者懇談会④		
29	水	29	金	29	月	29	水	29	土	29	火
×	昭和の日		◎ 特別活動候補日				○ 前期集中スクーリング③		×		
30	木	30	土	30	火	30	木	30	日	30	水
○ スポーツDAY(授業) 歯科検診		×					○ 前期集中スクーリング④ ● 3年前期定試		×		
		31	日				31	31	月		
		×					金	● 3年前期定試			
		レポート提出日 5/15, 5/30		レポート提出日 6/15, 6/30		レポート提出日 7/15, 7/24					

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1 木	◎ 後期入学式・特別活動	1 日		1 火	◎ 転入生履修オリエンテーション	1 金	× 元日	1 月		1 月	
2 金		2 月	◎ 転入生履修オリエンテーション	2 水		2 土	×	2 火	● 後期定期試験再試験	2 火	
3 土	×	3 火	× 文化の日	3 木	○ 後期⑤標準 授業見学会・学校説明会	3 日	×	3 水	● 後期定期試験再試験	3 水	
4 日	×	4 水		4 金	○ 後期⑤標準 授業見学会・学校説明会	4 月		4 木	○ 補充スクーリング	4 木	
5 月		5 木	○ 後期③標準	5 土	◎ 特別活動候補日	5 火	○ 後期集中スクーリング①	5 金		5 金	◎ 後期卒業式
6 火		6 金	○ 後期③標準	6 日	×	6 水	○ 後期集中スクーリング②	6 土	×	6 土	×
7 水		7 土	第4回学校説明会	7 月		7 木	○ 後期集中スクーリング③ ● 3年後期定期	7 日	×	7 日	×
8 木	○ 後期①標準	8 日	×	8 火		8 金	○ 後期集中スクーリング④ ● 3年後期定期	8 月	○ 補充スクーリング	8 月	
9 金	○ 後期①標準	9 月		9 水		9 土	×	9 火	○ 補充スクーリング	9 火	
10 土		10 火		10 木	◎ 特別活動候補日	10 日	×	10 水		10 水	
11 日	×	11 水		11 金	◎ 特別活動候補日	11 月	× 成人の日	11 木	× 建国記念日	11 木	◎ 新3年生履修 ※ オリエンテーション
12 月	× スポーツの日	12 木	◎ 特別活動候補日	12 土	×	12 火	○ 後期特別スクーリング	12 金	○ 補充スクーリング	12 金	◎ 新2年生履修 オリエンテーション
13 火		13 金	◎ 特別活動候補日	13 日	×	13 水	○ 後期特別スクーリング	13 土	× 第7回学校説明会	13 土	×
14 水		14 土	×	14 月		14 木	○ 後期特別スクーリング	14 ×		14 日	×
15 木	◎ 特別活動候補日 ※	15 日	×	15 火		15 金	× 共通テスト準備	15 月	○ 補充スクーリング	15 月	
16 金	◎ 特別活動候補日	16 月		16 水		16 土	× 共通テスト	16 火	○ 補充スクーリング	16 火	
17 土	◎ 梓森祭 第3回学校説明会Web	17 火		17 木	○ 後期⑥標準 ※	17 日	× 共通テスト	17 水		17 水	
18 日		18 水		18 金	○ 後期⑥標準	18 月		18 木	● 補充後期試験 ※ ◎ 履修相談会	18 木	※
19 月		19 木	○ 後期④標準 ※	19 土	第5回学校説明会	19 火		19 金		19 金	
20 火		20 金	○ 後期④標準	20 日	×	20 水	● 後期定期試験 3年卒業判定会議	20 土	×	20 土	×
21 水		21 土	×	21 月		21 木	● 後期定期試験 ※	21 ×		21 日	× 春分の日
22 木	○ 後期②標準	22 日	×	22 火		22 金	● 後期定期試験	22 月		22 月	× 振替休日
23 金	○ 後期②標準	23 月	× 勤労感謝の日	23 水		23 土	× 第6回学校説明会	23 火	× 天皇誕生日	23 火	
24 土	×	24 火		24 木	◎ 学習会(新村)	24 日	×	24 水	× 後期成績・ 単位認定会議	24 水	
25 日	×	25 水		25 金	◎ 学習会(新村) レポート・視聴報告書締切	25 月		25 木	◎ 履修相談会	25 木	
26 月		26 木	◎ 特別活動候補日	26 土	×	26 火		26 金		26 金	◎ 転・編入生履修(WEB) オリエンテーション
27 火		27 金	◎ 特別活動候補日	27 日	×	27 水		27 土	×	27 土	
28 水		28 土	×	28 月		28 木	○ 補充スクーリング	28 ×		28 日	
29 木	◎ 特別活動候補日	29 日		29 火	×	29 金	○ 補充スクーリング			29 月	
30 金	◎ 特別活動候補日	30 月		30 水	×	30 土	×			30 火	
31 土				31 木	×	31 日	×			31 水	
レポート提出日 10/15, 10/30		レポート提出日 11/15, 11/30		レポート提出日 12/15, 12/25							

令和7(2025)年度 年間行事予定表 (新村キャンパス)

松商学園高等学校通信制課程

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 水		1 金		1 月	◎ 転入生履修オリエンテーション	1 水	◎ 転入生履修オリエンテーション	1 土	×	1 火	◎ 転入生履修オリエンテーション
2 木		2 土	×	2 火		2 木	○ 前期⑤標準	2 日	×	2 水	● 前期定期試験再試験
3 金		3 日	×	3 水		3 金	○ 前期⑤標準	3 月		3 木	
4 土	×	4 月	×	4 木	○ 前期③標準	4 土	×	4 火	○ 前期特別スクーリング	4 金	
5 日	×	5 火	×	5 金	○ 前期③標準	5 日	×	5 水	○ 前期特別スクーリング	5 土	×
6 月	◎ 前期入学式	6 水	×	6 土	×	6 月		6 木	○ 前期特別スクーリング	6 日	×
7 火		7 木		7 日	×	7 火		7 金	● 3年前期定試再試験	7 月	
8 水		8 金		8 月		8 水		8 土	×	8 火	中学校教員向け説明会
9 木	◎ 在校生 オリエンテーション	9 土	×	9 火		9 木	◎ 特別活動候補日	9 日	×	9 水	前期成績・単位認定会議
10 金	◎ 新入生 履修オリエンテーション	10 日	×	10 水		10 金	◎ 特別活動候補日 ○ 1年体育標準スクーリング	10 月	×	10 木	× 8/23振替
11 土	×	11 月		11 木	◎ 特別活動候補日	11 土	×	11 火	×	11 金	入試説明会(長野)
12 日	×	12 火		12 金	◎ 特別活動候補日	12 日	×	12 水	×	12 土	×
13 月		13 水		13 土	×	13 月		13 木		13 日	×
14 火		14 木	◎ 特別活動候補日	14 日	×	14 火		14 金		14 月	
15 水		15 金	◎ 特別活動候補日	15 月		15 水		15 土		15 火	◎ 在校生履修 オリエンテーション
16 木	◎ 特別活動候補日 ※ (在校生遠足)	16 土	×	16 火		16 木	○ 前期⑥標準 ※	16 日		16 水	◎ 在校生履修 オリエンテーション
17 金	(通信)職員会議	17 日	×	17 水		17 金	○ 前期⑥標準	17 月		17 木	※ 後期履修登録期限 入試説明会(伊那)
18 土	×	18 月		18 木	○ 前期④標準 ※ 第1回学校説明会Web	18 土	×	18 火	● 前期定期試験 ◎ 避難訓練	18 金	
19 日	×	19 火		19 金	○ 前期④標準	19 日	×	19 水	● 前期定期試験	19 土	×
20 月		20 水		20 土	◎ 特別活動候補日	20 月	×	20 木	● 前期定期試験	20 日	×
21 火		21 木	○ 前期②標準 ※	21 日	×	21 火		21 金		21 月	×
22 水		22 金	○ 前期②標準	22 月	×	22 水		22 土		22 火	×
23 木	◎ 新入生ガイダンス PC設定等	23 土	◎ 特別活動候補日 (新入生遠足)	23 火		23 木	◎ 学習会(新村) 授業見学会・学校説明会	23 日		23 水	◎ 国民の休日 秋分の日
24 金	◎ 新・転入生ガイダンス PC設定等	24 日	×	24 水		24 金	◎ 学習会(新村) 授業見学会・学校説明会	24 月		24 木	(通信)職員会議
25 土	×	25 月		25 木	◎ 特別活動候補日	25 土	×	25 火	×	25 金	◎ 転入生 履修オリエンテーション
26 日	×	26 火		26 金	◎ 特別活動候補日	26 日		26 水		26 土	
27 月		27 水		27 土	×	27 月	○ 前期集中スクーリング①	27 木		27 日	
28 火		28 木	◎ 特別活動候補日	28 日	×	28 火	○ 前期集中スクーリング②	28 金		28 月	
29 水	×	29 金	◎ 学習会(新村) ◎ 特別活動候補日	29 月		29 水	○ 前期集中スクーリング③	29 土	×	29 火	
30 木	○ スポーツDAY(授業) 歯科検診	30 土	×	30 火		30 木	○ 前期集中スクーリング④ ● 3年前期定試	30 日	×	30 水	
		31 日	×			31 金	● 3年前期定試	31 月			
		レポート提出日 5/15, 5/30		レポート提出日 6/15, 6/30		レポート提出日 7/15, 7/24					

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1 木	◎ 後期入学式・特別活動	1 日		1 火	◎ 転入生履修オリエンテーション	1 金	× 元日	1 月		1 月	
2 金		2 月	◎ 転入生履修オリエンテーション	2 水		2 土	×	2 火	● 後期定期試験再試験	2 火	
3 土	×	3 火	×	3 木	○ 後期⑤標準 授業見学会・学校説明会	3 日	×	3 水	● 後期定期試験再試験	3 水	
4 日	×	4 水		4 金	○ 後期⑤標準 授業見学会・学校説明会	4 月		4 木	○ 補充スクーリング	4 木	
5 月		5 木	○ 後期③標準	5 土	◎ 特別活動候補日	5 火	○ 後期集中スクーリング①	5 金		5 金	◎ 後期卒業式
6 火		6 金	○ 後期③標準	6 日	×	6 水	○ 後期集中スクーリング②	6 土	×	6 土	×
7 水		7 土	第4回学校説明会	7 月		7 木	○ 後期集中スクーリング③ ● 3年後期定期	7 日	×	7 日	×
8 木	○ 後期①標準	8 日	×	8 火		8 金	○ 後期集中スクーリング④ ● 3年後期定期	8 月	○ 補充スクーリング	8 月	
9 金	○ 後期①標準	9 月		9 水		9 土	×	9 火	○ 補充スクーリング	9 火	
10 土		10 火		10 木	◎ 特別活動候補日	10 日	×	10 水		10 水	
11 日	×	11 水		11 金	◎ 特別活動候補日	11 月	×	11 木	×	11 木	◎ 新3年生履修 ※ オリエンテーション
12 月	×	12 木	◎ 特別活動候補日	12 土	×	12 火	○ 後期特別スクーリング	12 金	○ 補充スクーリング	12 金	◎ 新2年生履修 オリエンテーション
13 火		13 金	◎ 特別活動候補日	13 日	×	13 水	○ 後期特別スクーリング	13 土	×	13 土	×
14 水		14 土	×	14 月		14 木	○ 後期特別スクーリング	14 日	×	14 日	×
15 木	◎ 特別活動候補日 ※	15 日	×	15 火		15 金	×	15 月	○ 補充スクーリング	15 月	
16 金	◎ 特別活動候補日	16 月		16 水		16 土	×	16 火	○ 補充スクーリング	16 火	
17 土	◎ 梓森祭 第3回学校説明会Web	17 火		17 木	○ 後期⑥標準 ※	17 日	×	17 水		17 水	
18 日		18 水		18 金	○ 後期⑥標準	18 月		18 木	● 補充後期試験 ※ ◎履修相談会	18 木	※
19 月		19 木	○ 後期④標準 ※	19 土	第5回学校説明会	19 火		19 金		19 金	
20 火		20 金	○ 後期④標準	20 日	×	20 水	● 後期定期試験 3年卒業判定会議	20 土	×	20 土	×
21 水		21 土	×	21 月		21 木	● 後期定期試験 ※	21 日	×	21 日	×
22 木	○ 後期②標準	22 日	×	22 火		22 金	● 後期定期試験	22 月		22 月	×
23 金	○ 後期②標準	23 月	×	23 水		23 土	×	23 火	×	23 火	
24 土	×	24 火		24 木	◎ 学習会(新村)	24 日	×	24 水	天皇誕生日 後期成績・ 単位認定会議	24 水	
25 日	×	25 水		25 金	◎ 学習会(新村) レポート・視聴報告書締切	25 月		25 木	◎ 履修相談会	25 木	
26 月		26 木	◎ 特別活動候補日	26 土	×	26 火		26 金		26 金	◎ 転・編入生履修(WEB) オリエンテーション
27 火		27 金	◎ 特別活動候補日	27 日	×	27 水		27 土	×	27 土	
28 水		28 土	×	28 月		28 木	○ 補充スクーリング	28 日	×	28 日	
29 木	◎ 特別活動候補日	29 日		29 火		29 金	○ 補充スクーリング			29 月	
30 金	◎ 特別活動候補日	30 月		30 水		30 土	×			30 火	
31 土				31 木		31 日	×			31 水	
レポート提出日 10/15, 10/30		レポート提出日 11/15, 11/30		レポート提出日 12/15, 12/25							

令和8年度 通信制課程普通科 教育課程表

●必修 ○選択必修 *学校設定教科 ※学校設定科目

教科	科目	履修	開講	標準 単位数	認定 単位数	添削指導 (回)	面接指導 (単位時間)	備考
国語	現代の国語	●	前・後	2	2	6	2	
	言語文化	●	前・後	2	2	6	2	
	論理国語		通年	4	4	12	4	
	文学国語		通年	4	4	12	4	
	古典探究		通年	4	4	12	4	
地理歴史	地理総合	●	前・後	2	2	6	2	
	歴史総合	●	前・後	2	2	6	2	
	日本史探究	} 1科目選択	通年	3	3	9	3	
	世界史探究		通年	3	3	9	3	
	※日本史総論	} 1科目選択	通年	3	3	9	3	
	※世界史総論		通年	3	3	9	3	
公民	公共	●	前・後	2	2	6	2	
	倫理		前・後	2	2	6	2	
	政治・経済		前	2	2	6	2	
数学	数学Ⅰ	●	通年	3	3	9	3	
	数学Ⅱ		通年	4	4	12	4	
	数学A		前	2	2	6	2	
	※数学入門		前・後	2	2	6	2	
理科	科学と人間生活	●	前	2	2	6	8	
	物理基礎	○	} 1科目選択	後	2	2	6	8
	化学基礎	○		後	2	2	6	8
	生物基礎	○		後	2	2	6	8
	物理	} 1科目選択	通年	4	4	12	16	
	化学		通年	4	4	12	16	
生物	通年		4	4	12	16		
保健体育	保健	●	前・後	2	2	6	2	
	体育	●	通年	7~8	7	7	35	
芸術	書道Ⅰ	○	前・後	2	2	6	8	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	●	通年	3	3	9	12	
	英語コミュニケーションⅡ		通年	4	4	12	16	
	論理・表現Ⅰ		前・後	2	2	6	8	
家庭	家庭基礎	●	前・後	2	2	6	4	
情報	情報Ⅰ	●	前・後	2	2	6	4	
*キャリア講座	※ビジネス総合		前・後	2	2	6	2	
	※スポーツ総論		前・後	2	2	2	4	
	※文書表現		前・後	2	2	6	2	
計					99	279	226	
総合的な探究の時間		●		3~6	3	6	6	
合計					102	285	232	

2026年度 【前期①】 時間割

標準①	2026/5/7 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			(倫理1/1)			書道Ⅰ1/4
3	11:20 ~ 12:10			(倫理1/1A)		文書1/2	数学Ⅰ1/2
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			LHR	論理国語1/2	日本史総論 1/3	世界史総論 1/3
5	14:10 ~ 15:00			論理国語1/2	LHR	LHR	
6	15:10 ~ 16:00			スポ総1/4 (体育館)		(LHRT)	
7	16:10 ~ 17:00						

標準①	2026/5/8 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			LHR	LHR		
3	11:20 ~ 12:10			科学と人間 1/4	現代の国語 1/1		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			現代の国語 1/1	数学Ⅰ1/2		
5	14:10 ~ 15:00			英コミュⅠ 1/6	科学と人間 1/4		
6	15:10 ~ 16:00			数学Ⅰ1/2	英コミュⅠ 1/6		
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【前期②】 時間割

標準②	2026/5/21 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10						科学と人間 1/4
3	11:20 ~ 12:10			生物1/8		論表1/4	書道Ⅰ2/4
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュⅡ 1/8	2総探1/2		(書道Ⅰ 2/4A)
5	14:10 ~ 15:00			2総探1/2	英コミュⅡ 1/8	古典探究1/2	
6	15:10 ~ 16:00			体育1/6		体育1/6	
7	16:10 ~ 17:00				1総探1/2		

標準②	2026/5/22 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10						
3	11:20 ~ 12:10			科学と人間 2/4	書道Ⅰ1/4		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			地理総合1/1	科学と人間 2/4		
5	14:10 ~ 15:00			書道Ⅰ1/4	地理総合1/1		
6	15:10 ~ 16:00						
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【前期③】 時間割

標準③	2026/6/4 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10						科学と人間 2/4
3	11:20 ~ 12:10			生物2/8			書道 1 3/4
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			スポ総2/4	英コミュⅡ 2/8	政経1/1	
5	14:10 ~ 15:00			英コミュⅡ 2/8	スポ総2/4	3総探1/2	
6	15:10 ~ 16:00			体育2/6		体育2/6	
7	16:10 ~ 17:00						1総探2/2

標準③	2026/6/5 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10						
3	11:20 ~ 12:10			数学入門1/2	英コミュⅠ 2/6		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュⅠ 2/6	情報Ⅰ 1/2		
5	14:10 ~ 15:00			情報Ⅰ 1/2	数学入門1/2		
6	15:10 ~ 16:00						
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【前期④】 時間割

標準④	2026/6/18 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10					(地理総合 1/1A)	科学と人間 3/4
3	11:20 ~ 12:10			生物3/8		論表2/4	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			公共1/1	英コミュⅡ 3/8	文書2/2	
5	14:10 ~ 15:00			英コミュⅡ 3/8	公共1/1	数学A1/1	
6	15:10 ~ 16:00			スポ総3/4 (体育館)			
7	16:10 ~ 17:00						科学と人間 4/4

標準④	2026/6/19 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10						
3	11:20 ~ 12:10			数学入門2/2	英コミュⅠ 3/6		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュⅠ 3/6	1保健1/1		
5	14:10 ~ 15:00			1保健1/1	情報Ⅰ2/2		
6	15:10 ~ 16:00			情報Ⅰ2/2	数学入門2/2		
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【前期⑤】 時間割

標準⑤	2026/7/2 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/					
2	10:20 ~ 11:10			(ビジ総) 1/2	数学Ⅱ 1/2	(生物 4/8M)	書道Ⅰ 4/4
3	11:20 ~ 12:10			生物4/8		(数学Ⅱ 1/2T)	言語文化1/1
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			2保健1/1	世史探究1/2	文学国語1/2	(生物4/8M)
5	14:10 ~ 15:00			日史探究1/2	2保健1/1	論表3/4	
6	15:10 ~ 16:00			体育3/6		体育3/6	
7	16:10 ~ 17:00						

標準⑤	2026/7/3 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/					
2	10:20 ~ 11:10						
3	11:20 ~ 12:10			科学と人間 3/4	1総探1/2		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			書道Ⅰ 2/4	科学と人間 3/4		
5	14:10 ~ 15:00			1総探1/2	書道Ⅰ 2/4		
6	15:10 ~ 16:00						
7	16:10 ~ 17:00						

体育標準スクーリング (3時間分)

標準	2026/7/10 (金)	1年次相当 その他該当者のみ
12:20新村キャンパス集合 → 12:30新村キャンパス出発 → 芝沢体育館到着 →13:00~14:50体育スクーリング → 15:30新村キャンパス解散		

2026年度 【前期⑥】 時間割

標準⑥	2026/7/16 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)		
1	9:20 ~ 10:10	/	/						
2	10:20 ~ 11:10						3総探2/2	歴史総合1/1	
3	11:20 ~ 12:10					(ビジ総) 2/2		論表4/4	家庭基礎1/2
昼/SHR	12:10 ~ 13:10								
4	13:10 ~ 14:00					2総探2/2	英コミュⅡ 4/8	(ビジ総 2/2T)	家庭基礎2/2
5	14:10 ~ 15:00					英コミュⅡ 4/8	2総探2/2		
6	15:10 ~ 16:00					スポ総4/4 (体育館)		(2総探2/2M)	
7	16:10 ~ 17:00								

標準⑥	2026/7/17 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)		
1	9:20 ~ 10:10	/	/						
2	10:20 ~ 11:10								
3	11:20 ~ 12:10			科学と人間 4/4	書道Ⅰ 3/4				
昼/SHR	12:10 ~ 13:10								
4	13:10 ~ 14:00			1総探2/2	書道Ⅰ 4/4				
5	14:10 ~ 15:00			書道Ⅰ 3/4	科学と人間 4/4				
6	15:10 ~ 16:00			書道Ⅰ 4/4	1総探2/2				
7	16:10 ~ 17:00								

2026年度 【前期集中①】 時間割

集中①	2026/7/27 (月)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	LHR		LHR		LHR	
2	10:20 ~ 11:10	1総探1/2		生物1/8		文学国語 1/2	
3	11:20 ~ 12:10	科学と人間 1/4		論理国語 1/2		論表1/4	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	英コミュⅠ 1/6		スポ総1/4		日本史総論 1/3	世界史総論 1/3
5	14:10 ~ 15:00	科学と人間 2/4		英コミュⅡ 1/8		3総探1/2	
6	15:10 ~ 16:00	体育1/6					
7	16:10 ~ 17:00	数学入門1/2	歴史総合1/1	倫理1/1			

2026年度 【前期集中②】 時間割

集中②	2026/7/28 (火)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ1/4		生物2/8		文書1/2	
2	10:20 ~ 11:10	数学Ⅰ1/2		英コミュⅡ 2/8		古典探究 1/2	
3	11:20 ~ 12:10	科学と人間 3/4		日本史探究 1/2	世界史探究 1/2	論表3/4	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	英コミュⅠ 2/6		スポ総2/4		政経1/1	
5	14:10 ~ 15:00	体育2/6					
6	15:10 ~ 16:00	1保健1/1		2総探1/2		論表4/4	
7	16:10 ~ 17:00	数学入門2/2	言語文化1/1	ビジ総1/2			

2026年度 【前期集中③】 時間割

集中③	2026/7/29 (水)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ2/4		生物3/8		論表2/4	
2	10:20 ~ 11:10	家庭基礎1/2		公共1/1		文書2/2	
3	11:20 ~ 12:10	体育3/6					
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	情報Ⅰ1/2		英コミュⅡ 3/8		3総探2/2	
5	14:10 ~ 15:00	1総探2/2		スポ総3/4		数学A1/1	
6	15:10 ~ 16:00	地理総合1/1		2総探2/2		前期考査	
7	16:10 ~ 17:00	家庭基礎2/2		ビジ総2/2		前期考査	

2026年度 【前期集中④】 時間割

集中④	2026/7/30 (木)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ3/4		数学Ⅱ1/2		前期考査	
2	10:20 ~ 11:10	英コミュⅠ 3/6		生物4/8		前期考査	
3	11:20 ~ 12:10	科学と人間 4/4		スポ総4/4		前期考査	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	現代の国語 1/1		2保健1/1		前期考査	
5	14:10 ~ 15:00	情報Ⅰ2/2		英コミュⅡ 4/8		前期考査	
6	15:10 ~ 16:00	書道Ⅰ4/4				前期考査	
7	16:10 ~ 17:00					前期考査	

2026年度 【後期①】 時間割

標準①	2026/10/8 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			(公共1/1)			書道 I 1/4
3	11:20 ~ 12:10			英コミュ II 5/8	LHR	(文書1/2)	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			LHR	英コミュ II 5/8	日本史総論 2/3	世界史総論 2/3
5	14:10 ~ 15:00			(スポ総 1/4)		LHR	数学 I 2/2
6	15:10 ~ 16:00						
7	16:10 ~ 17:00						

標準①	2026/10/9 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			LHR	LHR		
3	11:20 ~ 12:10			物化生基礎 1/4	英コミュ I 4/6		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュ I 4/6	物化生基礎 1/4		
5	14:10 ~ 15:00			(1総探 1/2)			
6	15:10 ~ 16:00						
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【後期②】 時間割

標準②	2026/10/22 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10						
2	10:20 ~ 11:10			生物5/8			書道 I 2/4
3	11:20 ~ 12:10			LHR	論理国語2/2		理科基礎1/4
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			論理国語2/2	LHR	(論表1/4)	
5	14:10 ~ 15:00			体育4/6	体育4/6		
6	15:10 ~ 16:00			(2総探 1/2)			1総探1/2
7	16:10 ~ 17:00						

標準②	2026/10/23 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)		
1	9:20 ~ 10:10								
2	10:20 ~ 11:10							体育4/6	体育4/6
3	11:20 ~ 12:10							物化生基礎 2/4	歴史総合1/1
昼/SHR	12:10 ~ 13:10								
4	13:10 ~ 14:00							歴史総合1/1	物化生基礎 2/4
5	14:10 ~ 15:00							(現代の国 語) 1/1	
6	15:10 ~ 16:00							(書道 I) 1/4	
7	16:10 ~ 17:00								

2026年度 【後期③】 時間割

標準③	2026/11/5 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			生物6/8			書道 I 3/4
3	11:20 ~ 12:10			LHR	英コミュ II 6/8		理科基礎2/4
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュ II 6/8	LHR	古典探究2/2	
5	14:10 ~ 15:00			体育5/6		体育5/6	
6	15:10 ~ 16:00			(スポ総 2/4)		(論表2/4)	1総探2/2
7	16:10 ~ 17:00						

標準③	2026/11/6 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			体育5/6	体育5/6		
3	11:20 ~ 12:10			家庭基礎1/2	英コミュ I 5/6		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュ I 5/6	家庭基礎1/2		
5	14:10 ~ 15:00			(数学入門 1/2)			
6	15:10 ~ 16:00			(情報 I 1/2)			
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【後期④】 時間割

標準④	2026/11/19 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			数学Ⅱ 2/2			理科基礎3/4
3	11:20 ~ 12:10			英コミュⅡ 7/8	倫理1/1	(文書2/2)	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			倫理1/1	英コミュⅡ 7/8	文学国語2/2	
5	14:10 ~ 15:00			(スポ総 3/4)			
6	15:10 ~ 16:00						理科基礎4/4
7	16:10 ~ 17:00						

標準④	2026/11/20 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			(1保健 1/1)			
3	11:20 ~ 12:10			物化生基礎 3/4	英コミュⅠ 6/6		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュⅠ 6/6	物化生基礎 3/4		
5	14:10 ~ 15:00			(書道Ⅰ 2/4)			
6	15:10 ~ 16:00			(情報Ⅰ 2/2)			
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【後期⑤】 時間割

標準⑤	2026/12/3 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				現代の国語 1/1
2	10:20 ~ 11:10			生物7/8			書道 I 4/4
3	11:20 ~ 12:10			日史探究2/2	ビジ総1/2	(3総探 1/2)	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			ビジ総1/2	世史探究2/2	(論表3/4)	
5	14:10 ~ 15:00			体育6/6		体育6/6	
6	15:10 ~ 16:00			(2保健 1/1)			
7	16:10 ~ 17:00					家庭基礎1/2	

標準⑤	2026/12/4 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)		
1	9:20 ~ 10:10	/	/	/	/	/	/		
2	10:20 ~ 11:10							体育6/6	体育6/6
3	11:20 ~ 12:10							言語文化1/1	家庭基礎2/2
昼/SHR	12:10 ~ 13:10								
4	13:10 ~ 14:00							家庭基礎2/2	言語文化1/1
5	14:10 ~ 15:00							(地理総合 1/1)	
6	15:10 ~ 16:00							(数学入門 2/2)	
7	16:10 ~ 17:00								

2026年度 【後期⑥】 時間割

標準⑥	2026/12/17 (木)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				地理総合1/1
2	10:20 ~ 11:10			生物8/8		(論表4/4)	家庭基礎2/2
3	11:20 ~ 12:10			Biz総2/2	英コミュII 8/8	(3総探 2/2)	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			英コミュII 8/8	Biz総2/2	日本史総論 3/3	世界史総論 3/3
5	14:10 ~ 15:00			(スポ総 4/4)			
6	15:10 ~ 16:00			(2総探 2/2)			
7	16:10 ~ 17:00						

標準①	2026/12/18 (金)	1年次相当 1組	1年次相当 2組	2年次相当 1組 (130) 日本史	2年次相当 2組 (131) 世界史	3年次相当 (133)	転再講座等 (134)
1	9:20 ~ 10:10	/	/				
2	10:20 ~ 11:10			(1総探 2/2)			
3	11:20 ~ 12:10			物化生基礎 4/4	数学I 2/2		
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00			数学I 2/2	物化生基礎 4/4		
5	14:10 ~ 15:00			(書道I 3/4)			
6	15:10 ~ 16:00			(書道I 4/4)			
7	16:10 ~ 17:00						

2026年度 【後期集中①】 時間割

集中①	2027/1/5 (火)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	LHR		LHR			
2	10:20 ~ 11:10	1総探1/2		生物5/8		LHR	
3	11:20 ~ 12:10	物化生基礎 1/4	物化生基礎 1/4	スポ総1/4		論表1/4	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	1保健1/1		2総探1/2		文学国語 2/2	
5	14:10 ~ 15:00	家庭基礎1/2		論理国語 2/2		文書表現 1/2	
6	15:10 ~ 16:00	体育4/6					
7	16:10 ~ 17:00	数学入門1/2	地理総合1/1	公共1/1		論表2/4	

2026年度 【後期集中②】 時間割

集中②	2027/1/6 (水)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ1/4		生物6/8		論表3/4	
2	10:20 ~ 11:10	物化生基礎 2/4	物化生基礎 2/4	英コミュⅡ 5/8		古典探究 2/2	
3	11:20 ~ 12:10	数学Ⅰ2/2		日本史探究 2/2	世界史探究 2/2	論表4/4	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	英コミュⅠ 4/6		スポ総2/4		日本史総論 2/3	世界史総論 2/3
5	14:10 ~ 15:00	英コミュⅠ 5/6		ビジ総1/2		日本史総論 3/3	世界史総論 3/3
6	15:10 ~ 16:00	体育5/6					
7	16:10 ~ 17:00	数学入門2/2	1総探2/2	スポ総3/4		文書表現 2/2	

2026年度 【後期集中③】 時間割

集中③	2027/1/7 (木)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ 2/4		生物7/8		後期考査	
2	10:20 ~ 11:10	家庭基礎2/2		倫理1/1		後期考査	
3	11:20 ~ 12:10	物化生基礎 3/4	物化生基礎 3/4	英コミュⅡ 6/8		後期考査	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	言語文化1/1		英コミュⅡ 7/8		3総探1/2	
5	14:10 ~ 15:00	歴史総合1/1		ビジ総2/2		3総探2/2	
6	15:10 ~ 16:00	体育6/6					
7	16:10 ~ 17:00	現代の国語 1/1					

2026年度 【後期集中④】 時間割

集中④	2027/1/8 (金)	1年次相当 (130)	1年次相当 (134)	2年次相当 (131)	2年次相当 (134)	3年次相当 (133)	3年次相当 (134)
1	9:20 ~ 10:10	書道Ⅰ 3/4		生物8/8		後期考査	
2	10:20 ~ 11:10	英コミュⅠ 6/6		数学Ⅱ 2/2		後期考査	
3	11:20 ~ 12:10	物化生基礎 4/4	物化生基礎 4/4	スポ総4/4		後期考査	
昼/SHR	12:10 ~ 13:10						
4	13:10 ~ 14:00	情報Ⅰ 1/2		2保健1/1		後期考査	
5	14:10 ~ 15:00	情報Ⅰ 2/2		英コミュⅡ 8/8		後期考査	
6	15:10 ~ 16:00	書道Ⅰ 4/4		2総探2/2			
7	16:10 ~ 17:00						

教科	科目		担当者
国語	現代の国語	単位数 2	長谷川 澄代
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			
2, 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 現国002-901
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6		
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	「こそそめスープ」「ルリボシカミキリの青」 (P6-P17)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8(金) ①集7/30(木)
2	「未来をつくる想像力」「水の東西」 (P24-P38)	第2回 5月30日(土)	
3	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」「無彩色の色」「ハサミ」 (P68-P92)	第3回 6月15日(月)	
4	「鍋洗いの日々」「森で染める人」「動きを引き出す言葉の力」 (P100-P124)	第4回 6月30日(火)	
5	「美しさの発見」「りんごのほっぺ」「人生という旅の豊かな人間関係」 (P152-P176)	第5回 7月15日(水)	
6	「天動説はなぜ正しかったか?」「真の自立とは」 (P184-P201)	第6回 7月24日(金)	
1	「こそそめスープ」「ルリボシカミキリの青」 (P6-P17)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/23(金) ①集1/7(木)
2	「未来をつくる想像力」「水の東西」 (P24-P38)	第2回 10月30日(金)	
3	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」「無彩色の色」「ハサミ」 (P68-P92)	第3回 11月15日(日)	
4	「鍋洗いの日々」「森で染める人」「動きを引き出す言葉の力」 (P100-P124)	第4回 11月30日(月)	
5	「美しさの発見」「りんごのほっぺ」「人生という旅の豊かな人間関係」 (P152-P176)	第5回 12月15日(火)	
6	「天動説はなぜ正しかったか?」「真の自立とは」 (P184-P201)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「未来をつくる想像力」「水の東西」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	「こそめスープ」、「ルリボシカミキリの青」 (第1回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	文・話・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している
思考・判断・表現	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて叙述をもとに的確に捉え、趣旨や要点を理解している
主体的に学習に取り組む態度	進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。 日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	言語文化	単位数 2	長谷川 澄代
指導目標			
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1, 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>2, 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 言文701
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上 (メディア1・対面1)	副教材
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6		
回	学習内容 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	「さくらさくら」「心の自由」「とんかつ」「オレンジの実る中庭」 (P10-P48)	第1回 5月15日 (金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2 (木) ①集7/28 (火)
2	「柳あおめる」「雪の深さを」「冬が来た」他 (P54-P69)	第2回 5月30日 (土)	
3	「羅生門」「夢十夜」「デューク」 (P76-120)	第3回 6月15日 (月)	
4	「徒然草」「枕草子」「折々のうた」 (P146-171)	第4回 6月30日 (火)	
5	「伊勢物語」「平家物語」「奥の細道」 (P178-P201)	第5回 7月15日 (水)	
6	「訓読の基本」「故事成語」「絶句と律詩」 「論語」「史話」 (P218-P261)	第6回 7月24日 (金)	
1	「さくらさくら」「心の自由」「とんかつ」「オレンジの実る中庭」 (P10-P48)	第1回 10月15日 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標12/4 (金) ①集1/7 (木)
2	「柳あおめる」「雪の深さを」「冬が来た」他 (P54-P69)	第2回 10月30日 (金)	
3	「羅生門」「夢十夜」「デューク」 (P76-120)	第3回 11月15日 (日)	
4	「徒然草」「枕草子」「折々のうた」 (P146-171)	第4回 11月30日 (月)	
5	「伊勢物語」「平家物語」「奥の細道」 (P178-P201)	第5回 12月15日 (火)	
6	「訓読の基本」「故事成語」「絶句と律詩」 「論語」「史話」 (P218-P261)	第6回 12月25日 (金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「伊勢物語」「平家物語」「奥の細道」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	「さくらさくら」「心の自由」「とんかつ」「オレンジの実る中庭」 (第1回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けることとともに、日本の言論文化に対する理解を深める
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関りを通して伝える力を高めることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	論理国語	単位数 4	長谷川 澄代
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
<p>責任云に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>1, 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造</p> <p>2, 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 論国701
面接指導	4回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
通年	1～12	考査日 通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	I部 1 対話とは何か(P8～P14)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/7(木) ①集7/27(月)
	I部 1 世界をつくり替えるために(P15～P24)		
2	I部 2 少女たちの「ひろしま」(P26～P36)	第2回 5月30日(土)	
	I部 2 「ふしぎ」ということ(P37～P43)		
3	I部 3 学ぶことと人間の知恵(P56～P65)	第3回 6月15日(月)	
	I部 3 ラップトップ抱えた「石器人」(P66～P74)		
4	I部 4 思考の肺活量(P76～P82)	第4回 6月30日(火)	
	I部 4 安心について(P83～P91)		
5	I部 5 弱肉強食は自然の摂理か(P102～P113)	第5回 7月15日(水)	
	I部 5 複数の「わたし」(P114～P122)		
6	I部 6 はじめに「言葉」がある(P124～P131)	第6回 7月24日(金)	
	I部 6 案に働くこと、楽しく働くこと(P132～P137)		
7	II部 1 最初のペンギン(P168～P175)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/22(木) ②集1/5(火)
	II部 1 豊かさと生物多様性(P176～P183)		
8	II部 2 物語の外から(P186～P192)	第8回 10月30日(金)	
	II部 2 カフェの開店準備(P193～P199)		
9	II部 3 鏡としてのアンドロイド(P210～P218)	第9回 11月15日(日)	
	II部 3 ロボットが隣人になるとき(P219～P227)		
10	II部 4 言葉は「ものの名前」ではない(P232～P239)	第10回 11月30日(月)	
	II部 4 科学的「発見」とは(P240～P248)		
11	II部 5 知識における作者性と構造的性(P262～P270)	第11回 12月15日(火)	
	II部 5 もう一つの知性(P271～P279)		
12	II部 6 ホンモノのおカネの作り方(P282～P290)	第12回 12月25日(金)	
	II部 6 未来のありか(P291～P301)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「少女たちの「ひろしま」」（P26～P36）、「「ふしぎ」ということ」（P37～P43） 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 「鏡としてのアンドロイド」（P210～P218）、「ロボットが隣人になるとき」（P219～P227） 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
2時間	1時間目 「対話とは何か」「世界をつくり替えるために」 (第1回レポートと同一範囲) 2時間目 「最初のペンギン」「豊かさと生物多様性」 (第7回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けている
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者と関わりあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	文学国語	単位数 4	長谷川 澄代
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
2, 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 文国701
面接指導	4回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
通年 1～12	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	「光の窓」「雨月物語」「山月記」 (P8-P33)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング
2	「窓」「言葉を生きる」「詩と感情表現」 (P34-P56)	第2回 5月30日(土)	①標7/2(木) ①集7/27(月)
3	「山椒魚」「沖縄の手記から」 (P58-P92)	第3回 6月15日(月)	
4	「鉄」「竹」「永訣の朝」「硝子の駒」他 (P94-P114)	第4回 6月30日(火)	
5	「こころ」 (P116-P148)	第5回 7月15日(水)	
6	「文学のふるさと」「文学の未来」「鞆」「あの朝」 (P150-P188)	第6回 7月24日(金)	
7	「国語から旅立って」「書かれた風景の中へ」 「檸檬」(P190-P216)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング
8	「コンビニの母」「夏の姿」「帰途」他 (P217-P246)	第8回 10月30日(金)	②標11/19(木) ②集1/5(火)
9	「空っぽの瓶」「クレールという女」 「父と暮らせば」(P248-P290)	第9回 11月15日(日)	
10	「舞姫」 (P292-P327)	第10回 11月30日(月)	
11	「演技する私」「映画の可能性のために」 (P330～P344)	第11回 12月15日(火)	
12	「葉桜と魔笛」「蠅」 (P348-P374)	第12回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 「こころ」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 「舞姫」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
2時間	1時間目 「光の窓」「雨月物語」「山月記」 (第1回レポートと同一範囲) 2時間目 「国語から旅立って」「檸檬」 (第7回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けている
思考・判断・表現	他者に対して共感的に捉える力を伸ばし、創造的に考える力を養う。また、他者に効果的に自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	古典探究	単位数 4	長谷川 澄代
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
2, 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 古探701
面接指導	4回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
通年	1～12	考査日 通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	宇治拾遺物語・十訓抄・徒然草 (P10-P28)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング
2	方丈記・竹取物語・小倉百人一首の世界 (P29-P52)	第2回 5月30日(土)	①標5/21(木) ①集7/28(火)
3	土佐日記・更科日記・平家物語 (P54-P74)	第3回 6月15日(月)	
4	世間胸算用・おらが春・枕草子 (P76-P92)	第4回 6月30日(火)	
5	伊勢物語・大和物語・大鏡 (P94-P116)	第5回 7月15日(水)	
6	袋草子・無明抄・古今和歌集仮名序 源氏物語 (P118-P138)	第6回 7月24日(金)	
7	近世俳句抄・去来抄・三冊子・古事記 (P140-P156)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング
8	小話・唐詩・文 (P158-P180)	第8回 10月30日(金)	②標11/5(木) ②集1/6(火)
9	項羽と劉邦・寓話 (P182-P206)	第9回 11月15日(日)	
10	十八史略・小話 (P208-226)	第10回 11月30日(月)	
11	古体詩・廉頗と藺相如 (P228-P248)	第11回 12月15日(火)	
12	儒家と道家・詩・信玄と謙信 (P250-P270)	第12回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 方丈記・竹取物語・小倉百人一首の世界 2. 本時の目標 古文の表現に触れ、文法や古文独特の語句の知識を身に付ける。本文を理解し、内容を理解する。
2時間	1. 単元（題材）名 項羽と劉邦・寓話 2. 本時の目標 漢文の表現に触れ、漢文独特の語句の知識を身に付ける。本文を理解し、内容を理解する。

メディア視聴	学習内容
2時間	1時間目 宇治拾遺物語・十訓抄・徒然草 (第1回レポートと同一範囲) 2時間目 近世俳句抄・去来抄・三冊子・古事記 (第7回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深める
思考・判断・表現	古典を通して先人のものの見方・考え方・感じ方について自分の思いや考えを広げて深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	地理総合	単位数 2	良波 快陸
指導目標			
1, 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身につける。			
2, 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。			
3, 我が国の国土に対する意識を高め、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を高める。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 地総002-901
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日 前期	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	第1編第1章 地図と地理情報システム (P.7～P.32)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22(金) ①集7/29(水)
2	第1編第2章 資料から読み取る現代世界 第2編第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 (P.33～P.61)	第2回 5月30日(土)	
3	第2編第1章2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候 (P.62～P.85)	第3回 6月15日(月)	
4	第2編第1章4節 生活文化と社会環境③宗教・民族 第2章1節・2節 (P.86～P.131)	第4回 6月30日(火)	
5	第2編第2章3節人口問題・4節食料問題・5節居住・都市問題 6節民族問題・7節持続可能な社会 (P.132～P.172)	第5回 7月15日(水)	
6	第3編 持続可能な地域づくりと私たち (P.173～P.213)	第6回 7月24日(金)	
1	第1編第1章 地図と地理情報システム (P.7～P.32)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標12/4(金) ①集1/5(火)
2	第1編第2章 資料から読み取る現代世界 第2編第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 (P.33～P.61)	第2回 10月30日(金)	
3	第2編第1章2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候 (P.62～P.85)	第3回 11月15日(日)	
4	第2編第1章4節 生活文化と社会環境③宗教・民族 第2章1節・2節 (P.86～P.131)	第4回 11月30日(月)	
5	第2編第2章3節人口問題・4節食料問題・5節居住・都市問題 6節民族問題・7節持続可能な社会 (P.132～P.172)	第5回 12月15日(火)	
6	第3編 持続可能な地域づくりと私たち (P.173～P.213)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 生活文化の多様性と国際理解・地域環境 2. 本時の目標 人文地理の視点を身につける

メディア視聴	学習内容
1時間	1編第1章 私たちが暮らす世界（P10～） 第2章 地図や地図情報システムの役割（～P32） （第1回レポートと同一範囲）

評価観点	評価基準
知識・技能	地図や地理情報システムを考察し、活用に必要な技能を身に付けている
思考・判断・表現	世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 世界や日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的な知識を身に付け、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題意識として認識し、主体的に探究している

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	歴史総合	単位数 2	良波 快陸

指導目標

- 1, 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生きる力を養う。
- 2, 平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 歴総002-901
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～6

後期 1～6

考査日

前期

後期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	序章歴史の扉・第1章1節近代化への問い 2節アジアの繁栄と西洋近代の形成(P5～P47)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/16(木) ①集7/27(月)
2	第1章3節世界の一体化と多様な近代化(P48～P81)	第2回 5月30日(土)	
3	第2章1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会(P83～P107)	第3回 6月15日(月)	
4	第2章3節 経済危機と第二次世界大戦(P108～P137)	第4回 6月30日(火)	
5	第3章1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済(P138～P165)	第5回 7月15日(水)	
6	第3章3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望(P166～P193)	第6回 7月24日(金)	
1	序章歴史の扉・第1章1節近代化への問い 2節アジアの繁栄と西洋近代の形成(P5～P47)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/23(金) ①集1/7(木)
2	第1章3節世界の一体化と多様な近代化(P48～P81)	第2回 10月30日(金)	
3	第2章1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会(P83～P107)	第3回 11月15日(日)	
4	第2章3節 経済危機と第二次世界大戦(P108～P137)	第4回 11月30日(月)	
5	第3章1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済(P138～P165)	第5回 12月15日(火)	
6	第3章3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望(P166～P193)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 歴史への扉・近代化への問い・結びつく世界と日本の鎖国 2. 本時の目標 現代日本と世界と日本の近代史との連関を把握する

メディア視聴	学習内容
1時間	序章 歴史の扉 第1章1節 近代化への問い・2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成 (第1回レポート範囲と同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	文書・図表などの諸資料を活用して情報を読み取ることができ、日本と世界の歴史を理解する
思考・判断・表現	諸資料を活用し、課題を探究しながら歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる
主体的に学習に取り組む態度	歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	日本史探究	単位数 3	良波 快陸
指導目標			
1, 我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的に考察する。			
2, 歴史事象に見られる課題を把握し、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題を探究する。			
3, 地域の課題を歴史的視座から多面的に捉える力を養い、未来を展望する力を高める。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 日探701
面接指導	4回設定	合格時間数3時間以上(メディア1・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲 報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1～9	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	「先史の生活文化」～「飛鳥朝廷と文化」(P7～33)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2(木) ①集7/28(火)
2	「律令国家の形成」～「長期留学の経験をいかした二人の若者」(P34～64)	第2回 5月30日(土)	
3	「朝廷政治の変容」～「全国に展開する御家人の所領」(P65～97)	第3回 6月15日(月)	
4	「南北朝の動乱と室町幕府の成立」～「中国滞在中を経て自信を強めた禅僧画家雪舟」(P98～122)	第4回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標12/3(木) ②集1/6(水)
5	「地球的世界の形成と日本」～「江戸幕府と大名・朝廷」(P123～144)	第5回 10月30日(金)	
6	「近世の身分と人々の暮らし」～「ロシアと単独交渉高田屋嘉兵衛」(P145～186)	第6回 11月15日(日)	
7	「開国と開港」～「政府専制への批判」(P187～217)	第7回 11月30日(月)	
8	「立憲政治の成立」～「沖縄戦」(P218～269)	第8回 12月15日(火)	
9	「占領と日本国憲法の成立」～「歴史のなかの男性と女性」(P270～321)	第9回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 先史の生活文化～飛鳥朝廷と文化 2. 本時の目標 現代日本と古代との連関を把握する
2時間	1. 単元（題材）名 開国と開港～政府専制への批判 2. 本時の目標 現代日本と近代との連関を把握する

メディア視聴	学習内容
1時間	近世の身分と人々の暮らし～ロシアと淡道国生 高田屋嘉兵衛（P145～186） （第6回レポートと同一範囲）

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、日本の歴史を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の社会の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代社会との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	日本史総論	単位数 3	良波 快陸

指導目標

- 1, 我が国の文化をとらえ直し、多面的な視点を養う。
- 2, 日本の伝統を見つめ直し、その歴史的価値を再確認する。
- 3, 日本の文化を学ぶことで、自己の生き方をさらに豊かなものとしていく。

メディア学習	なし		教科書	東京書籍 日探701
面接指導	6回設定	合格時間数3時間以上(対面3)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1～9

考査日 通年前期

通年後期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	飛鳥文化・白鳳文化 仏像・建築物など (P32～33, P36～37)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/7(木) ①集7/27(月)
2	天平文化・弘仁貞観期の文化・仏像・建築物など (P46～49, P52～54)	第2回 5月30日(土)	
3	国風文化・院政期の文化 文学・仏教思想など (P60～64, P72～73)	第3回 6月15日(月)	
4	鎌倉文化 鎌倉仏教・建築など (P94～96)	第4回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/8(木) ③標12/17(木) ②集1/6(水) ③集1/6(水)
5	室町文化 建築・芸能など (P116～120)	第5回 10月30日(金)	
6	桃山文化、寛永期の文化、元禄文化 (P132～133, P144, P163～164)	第6回 11月15日(日)	
7	元禄文化、宝暦・天明期の文化 (P164～165, P170～173)	第7回 11月30日(月)	
8	化政文化、近代の文化 (P177～179, P230～233)	第8回 12月15日(火)	
9	近代の文化 思想・文学 (P242～244, P278～279, P288～289, P298, P306)	第9回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 飛鳥文化・白鳳文化 仏像・建築物 2. 本時の目標 古代日本の文化を多角的な視点から考察する
2時間	1. 単元（題材）名 鎌倉文化・鎌倉仏教 建築 2. 本時の目標 中世日本の文化を多角的な視点から考察する
3時間	1. 単元（題材）名 元禄文化・宝暦・天明期の文化 2. 本時の目標 近世日本の文化を多角的な視点から考察する

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、日本の文化を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の文化の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代文化との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目	担当者
地理歴史	世界史探究	丸山 洋史
	単位数 3	

指導目標

- 1, 「歴史総合」で学習した知識を基に、古代から近世にかけての社会的事象に関する見方・考え方を養う。
- 2, 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、日本と関連付けながら理解する。
- 3, 地球社会の課題と展望を探究する力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 世探701
面接指導	4回設定	合格時間数3時間以上(メディア1・対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1～9

考査日 通年前期

通年後期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	序章 世界史へのまなざし 第1編1章古代文明の出現 2章西アジアと地中海周辺 (P.7～P.64)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2(木) ①集7/28(火)
2	第1編3章南アジア・4章東南アジア 5章東アジアと中央ユーラシア (P.65～P.99)	第2回 5月30日(土)	
3	第1編6章アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編7章イスラーム世界・8章中世ヨーロッパ 9章中世世界の変容 (P.100～P.159)	第3回 6月15日(月)	
4	第2編10章インド洋世界の発展と東南アジア 11章大交易時代と世界の一体化 (P.160～P.185)	第4回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標12/3(木) ②集1/6(水)
5	第2編12章ユーラシア諸帝国の繁栄 13章主権国家体制 (P.186～P.224)	第5回 10月30日(金)	
6	3編14章 国民国家と近代社会の形成 (P.225～P.258)	第6回 11月15日(日)	
7	第3編15章世界市場の形成とアジア諸国の変容 16章アジア・アフリカ諸国の統治再編 (P.259～P.297)	第7回 11月30日(月)	
8	第3編17章第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 18章国際協調体制の同様と第二次世界大戦 (P.298～P.336)	第8回 12月15日(火)	
9	第3編19章第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 (P.337～P.389)	第9回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 世界史へのまなざし～西アジアと地中海世界 2. 本時の目標 文明のはじまりと古代文明を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 インド洋海域世界の発展と東南アジア～大交易時代と世界の一体化 2. 本時の目標 近世世界と現代との連関を考察する

メディア視聴	学習内容
1時間	序章 世界史へのまなざし 第1編1章 古代文明の出現 2章 西アジアと地中海周辺 (第1回レポート範囲と同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	文書・図版などから情報を読み取り、世界の諸地域の歴史を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の社会の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代社会との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	世界史総論	単位数 3	丸山 洋史
指導目標			
1, 世界の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的に考察する。			
2, 歴史事象に見られる課題を把握し、主に社会・文化に着目しながら、現代社会の諸課題を探究する。			
3, 社会課題を主に人々の視点から多面的に捉える力を養い、未来を展望する力を高める。			
メディア学習	なし		教科書 東京書籍 世探701
面接指導	6回設定	合格時間数3時間以上(対面3)	副教材
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲 報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1～9	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	文明の成立と古代文明の特質(P.23～29)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/7(木) ①集7/27(月)
2	地中海世界の古典文明(P.42,43,P.48,49)	第2回 5月30日(土)	
3	南アジアと東アジアの古代文化(P.69,70,P.85～87,P.91)	第3回 6月15日(月)	
4	イスラーム文明(P.118～121)	第4回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/8(木) ③標12/17(木) ②集1/6(水) ③集1/6(水)
5	中世西ヨーロッパの社会と文化(P.132～136)	第5回 10月30日(金)	
6	ルネサンス(P.141～143)	第6回 11月15日(日)	
7	近世ヨーロッパの社会と文化(P.221～224)	第7回 11月30日(月)	
8	帝国主義と工業化・科学技術の大変貌(P.273,P.277～278)	第8回 12月15日(火)	
9	21世紀の地球的課題(P.379～382)	第9回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 文明の成立と古代文明の特質 2. 本時の目標 古代文明を多角的な視点から考察する
2時間	1. 単元（題材）名 イスラーム文明 2. 本時の目標 イスラーム世界の文化を多角的な視点から考察する
3時間	1. 単元（題材）名 ルネサンス 2. 本時の目標 近世西欧の文化を多角的な視点から考察する

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、世界の文化を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の文化の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代世界の文化との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
公民	公共	単位数 2	良波 快陸
指導目標			
1, 諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を養う。			
2, 選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的に考察し、公正に判断する力を養う。			
3, 限段社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公民としての自覚を深める。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 公共701
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日	前期 後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	第1部 公共のとびら 第1章～第4章 (P8～P55)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/18(木) ①集7/29(水)
2	第2部第1章 民主政治と私たち (P56～P85)	第2回 5月30日(土)	
3	第2部第2章 法の働きと私たち (P86～P115)	第3回 6月15日(月)	
4	第2部第3章 経済社会で生きる私たち (P116～P151)	第4回 6月30日(火)	
5	第2部第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち (P152～P179)	第5回 7月15日(水)	
6	第2部第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために (P180～P219)	第6回 7月24日(金)	
1	第1部 公共のとびら 第1章～第4章 (P8～P55)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/8(木) ①集1/5(火)
2	第2部第1章 民主政治と私たち (P56～P85)	第2回 10月30日(金)	
3	第2部第2章 法の働きと私たち (P86～P115)	第3回 11月15日(日)	
4	第2部第3章 経済社会で生きる私たち (P116～P151)	第4回 11月30日(月)	
5	第2部第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち (P152～P179)	第5回 12月15日(火)	
6	第2部第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために (P180～P219)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人間としての在り方生き方 2. 本時の目標 社会における公共性の課題と意義を理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	第1部 公共のとびら 第1章～第4章（P8～P55） (第1回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、的確な判断・選択をするための概念や理論を理解している
思考・判断・表現	社会の諸課題の解決に向けて、的確な判断・選択をするための手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多角的な視点で考察できる
主体的に学習に取り組む態度	公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている 粘り強く志向し、課題解決に取り組もうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
公民	倫理	単位数 2	良波 快陸
指導目標			
1, 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に探究する			
2, 他者とともによりよく生きる事故を形成しようとする態度を養う			
3, 多角的な考察やより深い思索を通して、現代社会に生きる人間としての自覚を高める			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 政経701
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日	前期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	第1編1章 人間の心の在り方 2章1節哲学すること 2節ギリシア思想 (P.8～P.42)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/7(木) ①集7/27(月)
2	第1編2章3節宗教・4節キリスト教・5節イスラーム 6節仏教・7節中国・8節芸術 (P.43～P.81)	第2回 5月30日(土)	
3	第1編3章 1節近代の人間尊重の精神～ 5節理性への疑念 (P.82～P.120)	第3回 6月15日(月)	
4	第1編3章 6節人間観・言語観の問い直し～ 4章1節日本人の精神風土 (P.121～P.156)	第4回 6月30日(火)	
5	第1編4章2節仏教と日本人の思想形成～ 6節西洋文化と日本人の近代化 (P.157～P.198)	第5回 7月15日(水)	
6	第1編4章7節国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 (P.199～P.235)	第6回 7月24日(金)	
1	第1編1章 人間の心の在り方 2章1節哲学すること 2節ギリシア思想 (P.8～P.42)	第1回 10月15日(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標11/19(木) ①集1/7(木)
2	第1編2章3節宗教・4節キリスト教・5節イスラーム 6節仏教・7節中国・8節芸術 (P.43～P.81)	第2回 10月30日(金)	
3	第1編3章 1節近代の人間尊重の精神～ 5節理性への疑念 (P.82～P.120)	第3回 11月15日(日)	
4	第1編3章 6節人間観・言語観の問い直し～ 4章1節日本人の精神風土 (P.121～P.156)	第4回 11月30日(月)	
5	第1編4章2節仏教と日本人の思想形成～ 6節西洋文化と日本人の近代化 (P.157～P.198)	第5回 12月15日(火)	
6	第1編4章7節国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 (P.199～P.235)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 人間の心の在り方・源流思想 2. 本時の目標 自己の理解と社会に生きる個人としての自覚を高める。先哲の思想を体系的に理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	1編1章1節人間とは何か・2節人間の心の働き 2章1節哲学すること・2節ギリシア思想 (第1回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、的確な判断・選択をするための概念や理論を理解している
思考・判断・表現	社会の諸課題の解決に向けて、的確な判断・選択をするための手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多角的な視点で考察できる
主体的に学習に取り組む態度	公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている 粘り強く自らの思考を深め、課題解決に取り組もうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
公民	政治・経済		単位数 2	良波 快陸
指導目標				
1, 現実社会の諸事象に関する学習活動を通して、社会の在り方についての見方・考え方を働かせる。				
2, 現代の諸課題を探究したり解決に向けて構想したりする活動を行う。				
3, グローバル化する国際社会の中で主体的に生きる公民としての資質・能力を涵養する。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 政経701
面接指導	2回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～6	考查日		前期	
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	第1編1章1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原則 (P.4～P.47)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/4(木) ①集7/28(火)	
2	第1編1章3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 (P.48～P.79)	第2回 5月30日(土)		
3	第1編2章1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ (P.80～P.118)	第3回 6月15日(月)		
4	第1編2章3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 (P.119～P.155)	第4回 6月30日(火)		
5	第1編3章 現代日本の諸課題 第2編1章 現代の国際政治 (P.156～P.203)	第5回 7月15日(水)		
6	第2編2章 現代の国際経済 3章 国際社会の諸課題 (P.204～P.254)	第6回 7月24日(金)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 民主政治の基本原理・日本国憲法の基本原理 2. 本時の目標 民主主義の課題と意義を理解する。憲法の基本理念を理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	第1編1章1節 民主政治の基本原理 (教科書P.4～P.47) 2節 日本国憲法に基本原理 (第1回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	法律や政治体制など社会における基本的な知識を身に付け、生活に関連付けて理解できている
思考・判断・表現	現代における政治・経済の課題について広い視野で俯瞰できる力を身に付ける。 民主主義の本質を捉え、現代における様々な課題を公民として考える。
主体的に学習に取り組む態度	生活の中で、法や政治経済などの変化や社会情勢に対して積極的に関わろうとしている。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
数学	数学入門		単位数 2	横内 克彦
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。</p> <p>2, 図形の性質を見出し、論理的に考察する力、数学的に処理する力を身につける。</p> <p>3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p>				
メディア学習	なし		教科書	「数学入門」
面接指導	4回設定	合格時間数2時間以上(対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回~6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1~6	後期 1~6	考查日	前期	
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	①数の計算 ②正の数・負の数 (p.2~p.4)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	③④式の計算 (p.5~p.6)	第2回 5月30日(土)	①標6/5(金)	②標6/19(金)
3	⑤⑥式の計算 (p.7~p.8)	第3回 6月15日(月)	①集7/27(月)	②集7/28(金)
4	⑦平方根の計算 ⑧1次方程式 (p.9~p.10)	第4回 6月30日(火)		
5	⑨2次方程式 (p.11~p.12)	第5回 7月15日(水)		
6	⑩1次関数・2次関数 (p.13~p.14)	第6回 7月24日(金)		
1	①数の計算 ②正の数・負の数 (p.2~p.4)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
2	③④式の計算 (p.5~p.6)	第2回 10月30日(金)	①標11/6(金)	②標12/4(金)
3	⑤⑥式の計算 (p.7~p.8)	第3回 11月15日(日)	①集1/5(火)	②集1/6(水)
4	⑦平方根の計算 ⑧1次方程式 (p.9~p.10)	第4回 11月30日(月)		
5	⑨2次方程式 (p.11~p.12)	第5回 12月15日(火)		
6	⑩1次関数・2次関数 (p.13~p.14)	第6回 12月25日(金)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 式の計算 2. 本時の目標 展開・因数分解の基本的な知識を確認する
2時間	1. 単元（題材）名 2次方程式 2. 本時の目標 2次方程式の解法を身に着ける

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・原則を理解するとともに、日常生活と関連させて考える 技能が身についている
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程を振り返って発展的に考えている
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅰ	単位数 3	横内 克彦
指導目標			
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。</p> <p>2, 数や式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形する力、図形の性質などについて論理的に考察する力を養う。</p> <p>3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 数Ⅰ704
面接指導	4回設定	合格時間数3時間以上(メディア1・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全9回	A3 枚	考查範囲 報告課題1回~9回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年	1~9	考査日 通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1節 文字と式 (p.32~p.47)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8(金) ①集7/28(火)
2	2節 実数 (p.48~p.57)	第2回 5月30日(土)	
3	3節 方程式と不等式 (p.58~p.71)	第3回 6月15日(月)	
4	1節 二次関数とそのグラフ (p.74~p.91)	第4回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標12/18(金) ②集1/6(水)
5	2節 二次関数の値の変化 (p.92~p.101)	第5回 10月30日(金)	
6	1節 鋭角の三角比 (p.104~p.116)	第6回 11月15日(日)	
7	2節 三角比の応用 (p.117~p.127)	第7回 11月30日(月)	
8	1節 データの分析 (p.130~p.147)	第8回 12月15日(火)	
9	1節 集合と論証 (p.150~p.160)	第9回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 方程式と不等式 2. 本時の目標 中学校からの基本的な計算の仕方を身につける
2時間	1. 単元（題材）名 2次関数とそのグラフ 2. 本時の目標 2次関数のグラフと値の動きをグラフでとらえる

メディア視聴	学習内容
1時間	1節 文字と式 (p.32～p.47) (第1回レポートと同一範囲、一緒に提出)

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・原則を理解するとともに、日常生活と関連させて考える 技能が身についている
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程を振り返って発展的に考えている
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅱ	単位数 4	横内 克彦
指導目標			
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。</p> <p>2, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考える力、方程式を用いて図形を表現する力などを養う。</p> <p>3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 数Ⅱ717
面接指導	4回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 枚	報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
通年 1～14	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート) 締切期日	面接指導(スクーリング) 日程
1	1節 式の計算 (P4～P11)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2(木) ①集7/30(木)
2	2節 2次方程式 (P12～P19)	第2回 5月30日(土)	
3	3節 高次方程式 (P20～P27)	第3回 6月15日(月)	
4	4節 式と証明 (P28～P31)		
5	1節 座標と直線の方程式 (P34～P51)	第4回 6月30日(火)	
6	2節 円の方程式 (P52～P56)	第5回 7月15日(水)	
7	3節 軌跡と領域 (P57～P63)		
8	1節 三角関数 (P66～P77)	第6回 7月24日(金)	
9	2節 加法定理 (P78～P83)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標11/19(木) ②集1/8(金)
10	1節 指数関数 (P86～P95)	第8回 10月30日(金)	
11	2節 対数関数 (P96～P103)	第9回 11月15日(日)	
12	1節 微分係数と導関数 (P106～P115)	第10回 11月30日(月)	
13	2節 導関数の応用 (P116～P123)	第11回 12月15日(火)	
14	3節 積分 (P124～P133)	第12回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 2次方程式 2. 本時の目標 2次方程式の解法を修得する
2時間	1. 単元（題材）名 1節 指数関数 (P86～P95) 2. 本時の目標 指数関数の基本的な性質を理解する

メディア視聴	学習内容
1時間	1節 式の計算 (P 4～P11) (第1回レポートと同一範囲、一緒に提出)
2時間	2節 加法定理 (P78～P83) (第7回レポートと同一範囲、一緒に提出)

評価観点	評価基準
知識・技能	計算方法について理解を深め、数学的な思考方法を身に付けている
思考・判断・表現	数学的な問題の本質を理解し、表現することができる。 問題の解決に至る過程を振り返り、事象の関連性について理解できている
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
数学	数学A		単位数 2	横内 克彦
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。</p> <p>2, 図形の性質を見出し、論理的に考察する力、数学的に処理する力を身につける。</p> <p>3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p>				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 数A704
面接指導	2回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～9 考査日 前期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1節 場合の数 (P 4～P21)	第1回【No.1】5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/18(木) ①集7/29(水)
2	2節 確率 (P22～P37)	第2回【No.2】5月30日(土)	
3	1節 平面図形の基礎 (P40～P49)	第3回【No.3】6月15日(月)	
4	2節 三角形の性質 (P50～P57)		
5	3節 円の性質 (P58～P75)	第4回【No.4】6月30日(火)	
6	1節 数や位置を表す (P78～P85)	第5回【No.5】7月15日(水)	
7	2節 数の作りを調べる (P86～P91)		
8	3節 はかる (P92～P97)	第6回【No.6】7月24日(金)	
9	4節 数学で遊ぶ (P98～P108)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 平面図形の基礎 2. 本時の目標 数学的な要素を見出し、理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	1節 場合の数 (P 4～P21) (第1回レポートと同一範囲、一緒に提出)

評価観点	評価基準
知識・技能	数学の基本的な概念や原理・原則を理解し、現実の世界と結びつけて考えることができる
思考・判断・表現	数学の性質について思考を深め、自ら論理的に思考し、適切な活用方法を見出すことができる
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目	担当者
理科	科学と人間生活	松田 章利

指導目標

自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

- 1, 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。
- 2, 身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。
- 3, 自然と人間生活とのかかわりについての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活について考察させる。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 科人002-901
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上 (メディア4・対面4)	副教材	
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～12

考査日 前期

回	学習内容 (該当ページ)	課題レポート 提出締め切り日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	1編 1章 さまざまな微生物 (p16~24)	第1回 5月15日 (金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 (金) ②標5/22 (金) ③標7/3 (金) ③標7/26 (金) ①②集7/27 (月) ③集7/28 (火) ④7/30 (木)
2	私たちの暮らしへの微生物の利用 (p26~34)		
3	2章 ヒトの視覚…～血糖濃度… (p40~51)	第2回 5月30日 (土)	
4	生命現象の大もと…～体を守る免疫… (p52~63)		
5	2編 1章 衣料の科学～食品の科学 (p66~83)	第3回 6月15日 (月)	
6	2章 リサイクル～金属～プラスチック (p88~111)		
7	3編 1章 光の性質とその利用 (p116~135)	第4回 6月30日 (火)	
8	2章 熱の性質とその利用 (p138~p153)		
9	4編 1章 身近な自然景観の成り立ち (p158~p165)	第5回 7月15日 (水)	
10	自然災害と防災 (p166~179)		
11	4編 2章 太陽と月がもたらすリズム (p184~p189)	第6回 7月24日 (金)	
12	太陽が動かす大気と水 (p190~201)		

面接指導		学習内容	
時間	単元名 (該当ページ)	視聴報告要点 (① ②についてそれぞれ100字程度にまとめる)	
1時間	1編 2章 ヒトの視覚…～血糖濃度… (p40～51)	①ヒトの眼球の構造 ②血糖濃度調節のしくみ	
2時間	体を守る免疫…～生命現象… (p52～63)	①DNAとタンパク質 ②免疫と感染の予防	
3時間	2編 物質の科学 (p66～111)	①金属の性質 ②繊維の種類	
4時間	3編 光や熱の科学 (p116～153)	①光のスペクトル ②絶対温度	
メディア視聴			
メディア視聴		学習内容	
時間	単元名 (該当ページ)	視聴報告要点 (① ②についてそれぞれ100字程度にまとめる)	
1時間	1編 1章 さまざまな微生物 (p16～24)	①微生物の種類 ②窒素と微生物のはたらき (第1回レポート前半と同範囲)	
2時間	私たちの暮らしへの微生物の利用 (p26～34)	①発酵のしくみ ②医薬品と微生物 (第1回レポート後半と同範囲)	
3時間	4編 1章 自然景観と災害 (p158～p179)	①プレート運動 ②自然災害 (第5回レポートと同範囲)	
4時間	4編 2章 太陽と地球 (p184～p201)	①太陽の放射エネルギー ②太陽がつくる大気と海洋の循環 (第6回レポートと同範囲)	

評価観点	評価基準
知識・技能	自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活の関わりについて理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技術を身に付けている
思考・判断・表現	観察・実験を行い、人間生活と関連付けて科学的に探究している
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物や現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養っている

単位認定基準

- 1 報告課題 (添削指導) は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導 (スクーリング) は8単位以上 (メディア視聴4単位を含む) 出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	物理基礎	単位数 2	吉江 秀文
指導目標			
<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。</p> <p>1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とエネルギーについて理解を深める。</p> <p>2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>3, 物体の運動と様々なエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 物基002-902
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
後期 1～6		考査日	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1章 直線運動の世界(P10～P23)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/9(金) ②標10/23(金) ③標11/20(金) ④標12/18(金) ①集1/5(火) ②集1/6(水) ③集1/7(木) ④集1/8(金)
	1章 直線運動の世界(P26～P33)		
2	2章 力と運動の法則(P34～P59)	第2回 10月30日(金)	
	2章 力と運動の法則(P60～P73)		
3	3章 力学的エネルギー(P74～P81)	第3回 11月15日(日)	
	3章 力学的エネルギー(P82～P91)		
4	1章 熱(P94～P109)	第4回 11月30日(月)	
5	2章 波(P110～P135)	第5回 12月15日(火)	
6	3章 電気 4章 エネルギーとその利用(P136～P167)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容	
時間		本時の目標
1時間	2章 力と運動の世界(P34～P59)	力と運動の法則についてその基本を理解する
2時間	2章 力と運動の世界(P60～P73)	摩擦力、気体と液体から受ける力について理解する
3時間	3章 力学的エネルギー(P74～P91)	力学的エネルギーと力学的エネルギー保存の法則について理解する
4時間	1章 熱(P94～P107)	熱についてその基礎を理解する

メディア視聴	学習内容	
時間	単元名 (該当ページ)	視聴報告要点 (①②についてそれぞれ100字程度にまとめる)
1時間	1章 直線運動の世界(P10～P23)	①等速直線運動 ②等加速度直線運動 (第1回レポート前半と同一範囲)
2時間	1章 直線運動の世界(P26～P33)	①自由落下 ②鉛直投射 (第1回レポート後半と同一範囲)
3時間	2章 波(P110～P135)	①波の表し方 ②固有振動 (第5回レポートと同一範囲)
4時間	3章 電気 4章 エネルギーとその利用(P138～P167)	①電流と電気抵抗 ②原子核とエネルギー (第6回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて理解している
思考・判断・表現	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる
主体的に学習に取り組む態度	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる

単位認定基準

- 1 報告課題 (添削指導) は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導 (スクーリング) は8単位以上 (メディア視聴4単位を含む) 出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	化学基礎	単位数 2	吉江 秀文
指導目標			
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。			
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解を深める。			
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。			
3, 物質とその変化について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 化基002-902
面接指導	8回設定	合格時間数8時間以上 (メディア4・対面4)	副教材
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回~6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
後期 1~6		考査日	後期
回	学習内容 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	1章 物質の成分と構成元素 (P24~44)	第1回 10月15日 (木)	後期 ・学校でのスクーリング
2	1編 2章 原子の構造と元素の周期表 (P46~57)	第2回 10月30日 (金)	①標10/9 (金) ②標10/23 (金) ③標11/20 (金) ④標12/18 (金)
3	3章 化学結合 (P58~89)	第3回 11月15日 (日)	①集1/5 (火) ②集1/6 (水)
4	1章 物質量と化学反応式 (P96~122)	第4回 11月30日 (月)	③集1/7 (木) ④集1/8 (金)
5	2編 2章 酸と塩基 (P124~152)	第5回 12月15日 (火)	
6	3章 酸化還元反応 (P154~182)	第6回 12月25日 (金)	

面接指導	学習内容	
時間	単元（題材）名	本時の目標
1時間	原子の構造と元素の周期表	原子の構造と共通性質を理解する
2時間	化学結合	原子の結合を理解する
3時間	酸と塩基	酸と塩基の性質を理解する
4時間	酸化還元反応	生活と関連付けて理解する

メディア視聴	学習内容	
1時間	3編 2章 1節 酸と塩基・2節 水素イオン濃度とpH P106～119 (第5回レポート前半と同一範囲)	
2時間	3編 2章 3節 中和反応と塩の生成・4節 中和滴定 P120～135 (第5回レポート後半と同一範囲)	
3時間	3編 3章 酸化還元反応 1節酸化と還元・2節 酸化剤と還元剤 P136～147 (第6回レポート後半と同一範囲)	
4時間	3編 3章 酸化還元反応 3節 金属の酸化還元反応・4節酸化還元反応の応用 P148～161 (第6回レポート後半と同一範囲)	

評価観点	評価基準
知識・技能	化学や科学技術が生活にどのように関わっているか理解している
思考・判断・表現	化学と科学技術との関わりにおける問題を見出し、解決方法を考察できている
主体的に学習に 取り組む態度	化学に対する興味・関心を持っている 主体的・意欲的に化学と関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
理科	生物基礎		単位数 2	松田 章利
指導目標				
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、生物と生物現象について理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 生物や生物現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 生基002-902
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回~6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
後期 1~6		考査日	後期	
回	学習内容(該当ページ)	報告課題締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	1編 1章 生物の多様性と共通性(p14~p25) 2章 生物とエネルギー(p28~p39)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
2	2編 1章 遺伝情報とDNA(46~p59) 2章 遺伝情報とタンパク質の合成(p62~p73)	第2回 10月30日(金)	①標10/9(金) ②標10/23(金) ③標11/20(金) ④標12/18(金)	
3	3編 1章 ヒトの体を調節するしくみ(p80~p91) 1章 ヒトの体を調節するしくみ(p92~p103)	第3回 11月15日(日)	①集1/5(火) ②集1/6(水)	
4	2章 免疫のはたらき(p106~p111) 2章 免疫のはたらき(p112~p121)	第4回 11月30日(月)	③集1/7(木) ④集1/8(金)	
5	4編 1章 植生と遷移(p128~p137) 1章 植生と遷移(p138~p147)	第5回 12月15日(火)		
6	2章 生態系と生物の多様性(p150~p159) 2章 生態系と生物の多様性(p160~p169)	第6回 12月25日(金)		

面接指導		学習内容	
時間	単元名（該当ページ）	本時の目標	
1時間	遺伝情報とDNA（p42~p57）	遺伝情報を担うDNAの構造と働きを理解	
2時間	遺伝情報とタンパク質合成（p58~p71）	タンパク質合成のしくみについて理解する	
3時間	ヒトの体を調節するしくみ（p76~p99）	ヒトの体の恒常性について理解する	
4時間	免疫のはたらき（p100~p117）	免疫のはたらきを理解する	
メディア視聴		学習内容	
時間	単元名（該当ページ）	視聴報告要点（①②についてそれぞれ100字程度にまとめる）	
1時間	生物の多様性と共通性(p13~p23)	①真核細胞の構造 ②原核細胞の構造 (第1回レポート前半と同一範囲)	
2時間	生物とエネルギー(p24~p37)	①ATPと酵素 ②呼吸と光合成 (第1回レポート後半と同一範囲)	
3時間	植生と遷移(p122~p143)	①一次遷移（p134） ②バイオーム (第5回レポート範囲と同一範囲)	
4時間	生態系と生物の多様性(p144~p164)	①食物連鎖 ②生態系のバランスと攪乱 (第6回レポート範囲と同一範囲)	

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・原則を理解している
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に探究の過程を通じて問題を見出し考察できる
主体的に学習に	生物に対する興味・関心をもっている
取り組む態度	生物や生命現象に対して主体的に探究しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	物理	単位数 4	吉江 秀文
指導目標			
理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、様々な運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。			
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とエネルギーについて理解を深める。			
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。			
3, 物体の運動と様々なエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 物理701
面接指導	16回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
通年 1~12	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1章 平面内の運動	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/21(木) ②標6/4(木) ③標6/18(木) ④標7/2(木) ①集7/27(月) ②集7/28(火) ③集7/29(水) ④集7/30(木) 後期 ・学校でのスクーリング ⑤標10/22(木) ⑥標11/5(木) ⑦標12/3(木) ⑧標12/17(木) ⑤集1/5(火) ⑥集1/6(水) ⑦集1/7(木) ⑧集1/8(金)
	2章 剛体のつり合い		
2	3章 運動量	第2回 5月30日(土)	
	4章 円運動		
3	5章 単振動	第3回 6月15日(月)	
	6章 万有引力		
4	7章 気体分子の運動	第4回 6月30日(火)	
5	1章 波の伝わり方	第5回 7月15日(水)	
	2章 音		
6	3章 光	第6回 7月24日(金)	
7	1章 電場と電位	第7回 10月15日(木)	
8	2章 電流	第8回 10月30日(金)	
	3章 電流と磁場		
9	4章 電磁誘導と電磁波	第9回 11月15日(日)	
10	1章 電子と光	第10回 11月30日(月)	
11	2章 原子と原子核	第11回 12月15日(火)	
12		第12回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 平面内の運動 2. 本時の目標 特に放物運動に関する理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 円運動 2. 本時の目標 円運動に関する理解を深める
3時間	1. 単元（題材）名 万有引力 2. 本時の目標 生活に関わることとして理解を深める
4時間	1. 単元（題材）名 音 2. 本時の目標 音の性質に関する理解を深める
5時間	1. 単元（題材）名 光 2. 本時の目標 光の性質に関する理解を深める
6時間	1. 単元（題材）名 電場と電位 2. 本時の目標 電気の性質に関する理解を深める
7時間	1. 単元（題材）名 電流 2. 本時の目標 電流の性質に関する理解を深める
8時間	1. 単元（題材）名 原子と原子核 2. 本時の目標 原子に関する理解を深める

メディア視聴	学習内容
8時間	平面内の運動・剛体のつり合い 運動量と円運動 単振動と万有引力 気体分子の運動 波の伝わり方と音 光 電場と電位と電流 電流と磁場と電磁誘導と電磁波 電子と光 原子と原子核

評価観点	評価基準
知識・技能	物理的な事物・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	物理現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	物理的な事物・現象に対する興味・関心を持っている 物理的な現象に主体的・積極的に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は16単位以上（メディア視聴8単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
理科	化学	単位数	4	吉江 秀文
指導目標				
理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 物質とその変化について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 化学701
面接指導	16回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材	
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	考查範囲	報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年	1~12	考査日	通年前期	通年後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	1章 物質の状態 2章 気体の性質 (Vol.1 P9~P43)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	3章 溶液の性質 4章 固体の構造 (Vol.1 P44~P88)	第2回 5月30日(土)	①標5/21(木) ②標6/4(木) ③標6/18(木) ④標7/2(木)	
3	1章 化学反応と熱・光 (Vol.1 P89~P111)	第3回 6月15日(月)	①集7/27(月) ②集7/28(火) ③集7/29(水) ④集7/30(木)	
4	2章 電池と電気分解 (Vol.1 P112~P132)	第4回 6月30日(火)		
5	1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 (Vol.1 P133~P161)	第5回 7月15日(水)		
6	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡 (Vol.1 P162~P194)	第6回 7月24日(金)		
7	1章 周期表と元素 2章 非金属元素単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 (Vo.2 P7~P65)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
8	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認 (Vol.2 P66~P100)	第8回 10月30日(金)	⑤標10/22(木) ⑥標11/5(木) ⑦標12/3(木) ⑧標12/17(木)	
9	1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 (Vol.2 P101~P139)	第9回 11月15日(日)	⑤集1/5(火) ⑥集1/6(水) ⑦集1/7(木) ⑧集1/8(金)	
10	3章 アルコールと関連化合物 (Vol.2 P140~P171)	第10回 11月30日(月)		
11	4章 芳香族化合物 1章 高分子化合物とは何か (Vol.2 P140~P171)	第11回 12月15日(火)		
12	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 第7編 化学が果たす役割 (Vol.2 P140~P171)	第12回 12月25日(金)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 物質の状態 2. 本時の目標 物質に関する理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 気体の性質 2. 本時の目標 気体の性質に関して、様々な視点で考える
3時間	1. 単元（題材）名 電池と電気分解 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
4時間	1. 単元（題材）名 水溶液中の化学平衡 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
5時間	1. 単元（題材）名 有機化合物の特徴と構造 2. 本時の目標 実用化されている視点からも学ぶ
6時間	1. 単元（題材）名 アルコールと関連化合物 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
7時間	1. 単元（題材）名 芳香族化合物 2. 本時の目標 興味・関心を高める
8時間	1. 単元（題材）名 天然高分子化合物 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ

メディア視聴	学習内容
8時間	物質の状態・気体の性質・溶液の性質 溶液の性質・固体の構造 化学反応と熱・光 電池と電気分解 化学反応の速さと化学平衡 化学平衡と水溶液中の化学平衡 周期表と元素・非金属元素単体と化合物・典型金属元素と化合物 遷移元素の単体と化合物・金属イオンの分離と確認 有機化合物の特徴と構造・炭水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物・高分子化合物とは何か 天然高分子化合物・化学が果たす役割

評価観点	評価基準
知識・技能	化学的な事物・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	化学的な現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	化学的な事物・現象に対する興味・関心を持っている 化学的な現象に主体的・積極的に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は16単位以上（メディア視聴8単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目	単位数	担当者
理科	生物	4	松田 章利
指導目標			
理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。			
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深める。			
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。			
3, 生物や生物現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
メディア学習	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 生物701
面接指導	合格時間数16 (対面8・メディア8) 時間以上		
報告課題 (レポート)	全12回	考查範囲	報告課題1回～12回
定期考査	100点法	考査日	通常前期、通常後期
評定	5段階評定 (1～5)	観点別評価	A～C

	学習内容	該当ページ	報告課題 (レポート) 締切
1	1編 1章 1節共通性と多様性をつなぐ～2節生命の誕生	10～15	第1回 5月15日 (金)
2	3節生物の多様性地球環境の変化～2章 1節遺伝的変異	16～29	
3	2節多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖～3節進化の定義と自然選択による進化	30～43	第2回 5月30日 (土)
4	4節遺伝子レベルで見る進化～5節種分化	44～55	
5	3章 1節生物の系統～2節生物の系統分類	58～71	第3回 6月15日 (月)
6	3節霊長類のなかのヒト～4節人類の出現と変遷	72～81	
7	2編 1章 1節細胞を構成する成分～3節細胞の構造	88～101	第4回 6月30日 (火)
8	4節タンパク質の構造～6節生命現象とタンパク質	103～127	
9	2章 1節代謝とエネルギー～2節呼吸	128～140	第5回 7月15日 (水)
10	3節発酵～4節光合成	141～157	
11	3編 1章 1節DNAの構造～3節遺伝情報の流れ	162～169	第6回 7月24日 (金)
12	4節RNAと転写～6節遺伝情報の変化	170～189	
13	2章 1節原核生物の遺伝子発現の調節～4節動物の発生	190～211	第7回 10月15日 (木)
14	5節胚の細胞の発生運命と遺伝子発現～7節動物の形と調節遺伝子の発現	212～235	
15	3章 1節遺伝子を増幅する技術～2節塩基配列を解読する技術	236～243	第8回 10月30日 (金)
16	3節遺伝子組み換え技術の利用～4節遺伝子や細胞を扱う技術の課題	244～257	
17	4編 1章 動物の刺激と受容と反応	264～297	第9回 11月15日 (日)
18	2章 動物の行動	298～317	
19	3章 1節被子植物の生殖と発生～5節茎や根の成長と環境要因の影響	318～341	第10回 11月30日 (月)
20	6節気孔の開閉の調節と環境要因の影響～9節器官の老化と脱落の仕組み	342～363	
21	5編 1章 1節生態系から見た生物～3節個体群の構造と成長	370～383	第11回 12月15日 (火)
22	4節個体間の相互作用～6節生物群集の成り立ちと多種の共存	384～405	
23	2章 1節食物網と物質生産～2節人間社会の変化と生態系	406～419	第12回 12月25日 (金)
24	3節生態系の復元～4節人間は自然とどう付き合ったらよいか	420～441	

学習内容・実施日		
対面	単元名	本時の目標
1時間	生命の起源と細胞の進化	生命の起源を探り、興味を深める
2時間	細胞と物質	細胞に関する知見を深める
3時間	呼吸の反応経路と反応の場	自分たちの身体機能と関連付けて考察する
4時間	光合成	光合成について学びを深める
5時間	遺伝情報の流れ	遺伝についての学びを深める
6時間	ニューロンの興奮	神経伝達のシステムを学ぶ
7時間	動物の行動	動物の行動について学びを深める
8時間	器官の老化と脱落	老化のシステムを学ぶ

学習内容			
メディア	単元名 (該当ページ)	テーマ (①、②それぞれ100字以上)	提出締め切り日
1時間	生命の起源と細胞の進化 (P.10～P.29) ①標5/21 (木) ①集7/27 (月)	① 生命の誕生 ② 遺伝的変質	5月15日 (金)
2時間	生物の系統と進化 (P.58～P.81) ②標6/4 (木) ②集7/28 (火)	① 生物の分類 ② 人類の出現と変遷	6月15日 (月)
3時間	生物の系統と進化 (P.88～P.127) ③標6/18 (木) ③集7/29 (水)	① 生体膜 ② 生命現象とタンパク質	6月30日 (火)
4時間	遺伝情報とその発現 (P.162～P.189) ④標7/2 (木) ④集7/30 (木)	① DNAの構造 ② 遺伝情報の流れ	7月24日 (金)
5時間	遺伝子を扱う技術 (P.236～P.257) ⑤標10/22 (木) ⑤集1/5 (火)	① 遺伝子組み換え ② 遺伝技術の課題	10月30日 (金)
6時間	動物の刺激の受容と反応 (P.264～P.297) ⑥標11/5 (木) ⑥集1/6 (水)	① ニューロン ② シナプス	11月15日 (日)
7時間	植物の環境応答(P.318～P.363) ⑦標12/3 (木) ⑦秀1/7 (木)	① 被子植物の受精 ② 植物ホルモン	11月30日 (月)
8時間	生態系と環境(P.370～P.441) ⑧標12/17 (木) ⑧集1/8 (金)	① 生態系の成り立ち ② 生態系と人間生活	12月25日 (金)

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関わる事象・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	生物に対する興味・関心を持っている 生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題 (添削指導) は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導 (スクーリング) は16時間以上 (メディア視聴8時間まで) 出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
英語	英語コミュニケーションⅠ	単位数 3	武田 美奈子	
指導目標				
1, 「聞くこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を聞き取り、話の意図や要点を把握することができるようにする。				
2, 「読むこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。				
3, 「話すこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考え、気持などを伝え合うやり取りを続けたり、論理的に詳しく伝えたりすることができるようにする。				
4, 「書くこと」日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 C I 901	
面接指導	12回設定	合格時間数12時間以上(メディア6・対面6)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲 報告課題1回~9回	
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定	
通年 1~9	考査日	通年前期	通年後期	
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート) 締切期日	面接指導(スクーリング) 日程	
1	Lesson1 Breakfast around the World(16~23)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8(金) ②6/5(金) ③標6/19(金) ④集7/27(月) ⑤集7/28(火) ③集7/30(木)	
	Lesson2 Australian's Cute Quokkas(24~33)			
2	Lesson3 Life with Spade(34~43)	第2回 5月30日(土)		
3	Lesson4 A Miracle Mirror(44~55)	第3回 6月15日(月)		
4	Lesson5 A Dream Engine(56~69)	第4回 10月15日(木)		後期 ・学校でのスクーリング ④標10/9(金) ⑤標11/6(金) ⑥標11/20(金) ④⑤集1/6(水) ⑥集1/8(金)
	Reading 1 Short Stories in English(70~73)			
5	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period(74~83)	第5回 10月30日(金)		
6	Lesson7 A Diary of Hope(84~93)	第6回 11月15日(日)		
7	Lesson8 A Door to New Life(94~107)	第7回 11月30日(月)		
8	Lesson9 Ghosts in the Oceans(108~119)	第8回 12月15日(火)		
9	Lesson10 Pigs from across the Sea(120~131)	第9回 12月25日(金)		
	Reading 2 Mujina			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 Breakfast around the World 及び Australia's Cute Quokkas 2. 本時の目標 過去形・現在進行形を学ぶ
2時間	1. 単元(題材)名 Life with Spade 2. 本時の目標 助動詞(can・will)の働きを学ぶ
3時間	1. 単元(題材)名 A Miracle Mirror 2. 本時の目標 to不定詞の用法を学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 A Dream Engine 及び Reading 1 2. 本時の目標 動名詞・知覚動詞の働きを学ぶ
5時間	1. 単元(題材)名 A Funny Picture from the Edo Period、A Diary of Hope 及び A Door to New Life 2. 本時の目標 受け身(受動態)、比較表現や現在完了形の用法を学ぶ
6時間	1. 単元(題材)名 Ghosts in the Oceans、Pigs from across the Sea 及び Reading 2 2. 本時の目標 分詞、関係代名詞 及び 仮定法過去の働きを学ぶ

メディア視聴	学習内容
1時間	Lesson1"Breakfast around the World" (P16~P23) 普段の朝食や理想的な朝食について英語で述べるための表現を学習する。 Lesson2"Australia's Cute Quokkas" (P24~P33) 好きな動物について英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 《 第1回レポートと一緒に提出 》
2時間	Lesson3"Life with Spade" (P34~P43) ある場所への行き方とそこでできることについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 《 第2回レポートと一緒に提出 》
3時間	Lesson4"A Miracle Mirror" (P44~P55) 行ってみたい場所について英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 《 第3回レポートと一緒に提出 》
4時間	Lesson5"A Dream Engine" (P56~P69) 好きなことや将来実現したいことについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 Lesson6"A Funny Picture from the Edo Period" (P74~P83) 好きな絵や写真・マンガについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 《 第5回レポートと一緒に提出 》
5時間	Lesson7"A Diary of Hope" (P84~P93) 関心のある人物について英語で説明する際に役立つ表現を身に付ける。 《 第6回レポートと一緒に提出 》
6時間	Lesson8"A Door to a New Life" (P94~P107) 英語で提案する際に役立つ表現を身に付ける。 電車の乗り換え案内をする時に役立つ英語を身に付ける。 《 第7回レポートと一緒に提出 》

評価観点	評価基準
知識・技能	学習した表現を用いた文の形・意味を理解している。また、相手とコミュニケーションできる
思考・判断・表現	適切な表現を正しく認識し、使用している。
主体的に学習に	学習した表現を正しく認識し、適切に使用しようとしている。
取り組む態度	自分の考えをまとめ、相手が理解しやすいように適切に伝えようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は12単位以上(メディア視聴6単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
英語	英語コミュニケーションⅡ	単位数 4	武田 美奈子

指導目標

英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考え等を的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。そのために英語理解において最も中心となる必修単語習得・文法項目理解を確実にを行い、これを土台として文章を読み、書き、聞き、考えを伝えるという「技術」面の修得を目指す。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 CⅡ701
面接指導	16回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材	
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚	考查範囲	報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1~12

考査日 通年前期

通年後期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容
1	Pre-Lesson Lesson1 A Colorful Island(8~19)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/21(木) ②標6/4(木) ③6/18(木) ④7/16(木) ①集7/27(月) ②集7/28(火) ③集7/29(水) ④7/30(木)
2	Lesson2 With the Beatles(20~29)	第2回 5月30日(土)	
3	Lesson3 Wild Men(30~41)	第3回 6月15日(月)	
4	Lesson4 Little Hero(42~55)	第4回 6月30日(火)	
5	Lesson5 Special Makeup in Kabuki(56~69)	第5回 7月15日(水)	
6	Reading1 Mujina(70~77)	第6回 7月24日(金)	
7	Lesson6 Seeds for Future Generations(78~91)	第7回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ⑤標10/8(木) ⑥標11/5(木) ⑦標11/19(木) ⑧標12/17(木) ⑤集1/6(水) ⑥⑦集1/7(木) ⑧集1/8(金)
8	Lesson7 Over the Wall(92~105)	第8回 10月30日(金)	
9	Lesson8 Inspiration from Nature(106~119)	第9回 11月15日(日)	
10	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate(120~133)	第10回 11月30日(月)	
11	Lesson10 Fighting Angel(134~147)	第11回 12月15日(火)	
12	Reading2 Bear's Pie(148~155)	第12回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 A Colorful Island 及び With the Beatles 2. 本時の目標 関係代名詞whatと比較表現を学ぶ
2時間	1. 単元(題材)名 Wild Men 2. 本時の目標 形式主語itについて学ぶ
3時間	1. 単元(題材)名 Little Hero 及び Special Makeup in Kabuki 2. 本時の目標 間接疑問文とto不定詞を含む表現について学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 Mujina 2. 本時の目標 英文を読む楽しさを学ぶ
5時間	1. 単元(題材)名 Seeds for Future Generations 及び Over the Wall 2. 本時の目標 名詞節のifと関係副詞(where・when)を学ぶ
6時間	1. 単元(題材)名 Inspiration from Nature 2. 本時の目標 知覚動詞(see・hear・feelなど)について学ぶ
7時間	1. 単元(題材)名 The Bitter Truth behind Chocolate 及び Fighting Angel 2. 本時の目標 使役動詞の用法や分詞構文について学ぶ
8時間	1. 単元(題材)名 Bear's Pie 2. 本時の目標 英文を読む楽しさを学ぶ

メディア視聴	学習内容
1時間	Pre Lesson" My Plans for This Year" (P8~P9) [want to 不定詞]を使って、今年やってみたいことや海外で行ってみたい場所について、英語で述べる。 Lesson1" A Colorful Island" (P10~P19) 関係代名詞whatについて学習し、子どものころなりたかったものについて伝える。 《 第1回レポートと一緒に提出 》
2時間	Lesson2" With the Beatles" (P20~P29) 感覚や感情を表す語を学習する。 《 第2回レポートと一緒に提出 》
3時間	Lesson3" Wild Men" (P30~P41) ヨーロッパの行事についての英文を読み、重要表現を学習する。 《 第3回レポートと一緒に提出 》
4時間	Lesson4" Little Hero" (P42~P55) 間接疑問文の理解をもとに、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学ぶ。 《 第4回レポートと一緒に提出 》
5時間	Lesson5" Special Makeup in Kabuki" (P56~P69) 身体の各部分・ふだん身に付けている衣服に関する語を学習する。 《 第5回レポートと一緒に提出 》
6時間	Reading1" Mujina" (P70~P77) 英語で書かれた物語『ムジナ』を読み、重要表現を学習する。 《 第6回レポートと一緒に提出 》
7時間	Lesson6" Seeds for Future Generations" (P78~P91) 動詞の目的語になるif節の理解をもとに、京野菜について学ぶ。 Lesson7" Over the Wall" (P92~P105) 空港での入国審査における会話文を読み、重要表現を身に付ける。 《 第8回レポートと一緒に提出 》
8時間	Lesson8" Inspiration from Nature" (P106~P119) 自然科学をテーマにしたオンライン講演の英文を読み、重要表現を学習する。 Lesson9" The Bitter Truth behind Chocolate" (P120~P133) チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学ぶ。 《 第10回レポートと一緒に提出 》

評価観点	評価基準
知識・技能	英語の特徴やきまりを理解し、それに基づきながら適切な文を作ることができる
思考・判断・表現	話し手や書き手の意図を適切にとらえ、情報を整理してまとめることができる 話し手や書き手の意図を適切にとらえ、自分なりの考えを伝えることができる
主体的に学習に取り組む態度	英語を用いて、自分の意見を伝えようとしたり、相手の意見を理解しようとするなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は16単位以上(メディア視聴8単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
英語	論理・表現Ⅰ	単位数 2	武田 美奈子
指導目標			
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。			
文構造から仮定法まで基本となる文法事項を学び、情報や考えを表す英語力を修得する。報告課題では文章をまとめる力を養う。面接指導では発表の方法を学び、コミュニケーション能力を高める。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 論Ⅰ002-901
面接指導	16回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日	前期 後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	Unit1 Lesson1,Lesson2,Lesson3(14～31)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/21(木) ②標6/18(木) ③標7/2(木) ④7/16(木) ①集7/27(月) ②③集7/28(火) ④集7/29(水)
2	Unit1 Lesson4,Lesson5,Lesson6(32～49)	第2回 5月30日(土)	
3	Unit1 Lesson7,Lesson8,Lesson9(50～67)	第3回 6月15日(月)	
4	Unit1 Lesson10,Lesson11,Lesson12(68～87)	第4回 6月30日(火)	
5	Unit2 Lesson1,Lesson2(88～99) Unit2 Lesson3,Lesson4(100～111)	第5回 7月15日(水)	
6	Unit2 Lesson5,Lesson6(112～123) Unit2 Lesson7,Lesson8(124～135)	第6回 7月24日(金)	
1	Unit1 Lesson1,Lesson2,Lesson3(14～31)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/22(木) ②標11/5(木) ③標12/3(木) ④標12/17(木) ①②集1/5(火) ③④集1/6(水)
2	Unit1 Lesson4,Lesson5,Lesson6(32～49)	第2回 10月30日(金)	
3	Unit1 Lesson7,Lesson8,Lesson9(50～67)	第3回 11月15日(日)	
4	Unit1 Lesson10,Lesson11,Lesson12(68～87)	第4回 11月30日(月)	
5	Unit2 Lesson1,Lesson2(88～99) Unit2 Lesson3,Lesson4(100～111)	第5回 12月15日(火)	
6	Unit2 Lesson5,Lesson6(112～123) Unit2 Lesson7,Lesson8(124～135)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 Unit1 Lesson1～Lesson3 2. 本時の目標 提案・拒否・依頼・人物紹介の表現を学ぶ
2時間	1. 単元（題材）名 Unit1 Lesson4～Lesson12 2. 本時の目標 体調・買い物・希望・誘い・助言・感謝・感想・謝罪・共感・主張の表現を学ぶ
3時間	1. 単元（題材）名 Unit2 Lesson1～Lesson4 2. 本時の目標 ディベートやスピーチの表現を学ぶ
4時間	1. 単元（題材）名 Unit2 Lesson5～Lesson8 2. 本時の目標 様々な英語表現で表現活動の楽しさを知る

メディア視聴	学習内容
1時間	Unit1 Lesson1～Lesson3 (P14～P31) 褒める・勧める・断る際の表現を身に付ける。 提案する・依頼する・道順を説明する際の表現を身に付ける。 《 第1回レポートと一緒に提出 》
2時間	Unit1 Lesson4～Lesson6 (P32～P49) 症状の伝え方・体調の尋ね方・指示やアドバイスの仕方を学習する。 食材にまつわる表現・探しているものについて描写する方法・相づちの打ち方を身に付ける。 《 第2回レポートと一緒に提出 》
3時間	Unit1 Lesson7～Lesson9 (P50～P67) 誘い方・誘いの受け方・誘いの断り方について学習する。 状況を説明する・手助けを申し出る・助言や提案をする・お礼や感謝を伝える際の英語表現を身に付ける。 《 第3回レポートと一緒に提出 》
4時間	Unit1 Lesson10～Lesson12 (P68～P87) 相手に謝る・相手を許す・相手を励ます際の英語表現を学習する。 共感や残念な気持ちを述べたり、解決策を提案する際に役立つ英語表現を身に付ける。 《 第4回レポートと一緒に提出 》

評価観点	評価基準
知識・技能	英語の音声や語彙・表現・文法を身に付け、実際のコミュニケーションとして4技能をバランスよく運用できる力を身に付けている
思考・判断・表現	幅広い話題について学習した内容を使用して相手に伝えることができる
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図ろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	1保健（履修モデル1年次）		単位数 1	永井 真弓
指導目標				
1, 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。				
2, 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。				
3, 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	なし		教科書	大修館書店 保体050-901
面接指導	4回設定	合格時間数1時間以上（対面1）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	考查範囲	報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～3	後期 1～3	考査日	前期	後期
回	学習内容（該当項目）	報告課題該当項目（新教科書）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	01健康の考え方と成り立ち～10飲酒と健康	教科書P.4～P.29	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19（金） ①集7/28（火）
2	11薬物乱用と健康～19健康に関する環境づくり	教科書P.30～P.53	第2回 5月30日（土）	
3	01事故の現状と発生要因～06心肺蘇生法	教科書P.58～P.71	第3回 6月15日（月）	
1	01健康の考え方と成り立ち～10飲酒と健康	教科書P.4～P.29	第1回 10月15日（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標11/20（金） ①集1/5（火）
2	11薬物乱用と健康～19健康に関する環境づくり	教科書P.30～P.53	第2回 10月30日（金）	
3	01事故の現状と発生要因～06心肺蘇生法	教科書P.58～P.71	第3回 11月15日（日）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 【現代社会と健康】01 健康の考え方と成り立ち 2. 本時の目標 健康に関する適切な意思決定・行動選択ができる知識を修得する

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解している。また、その技能を習得している
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持促進について理解し、明るく豊かな生活を目指す姿がある

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は1単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	2保健（履修モデル2年次）		単位数 1	永井 真弓
指導目標				
1, 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。				
2, 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。				
3, 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	なし		教科書	大修館書店 保体701
面接指導	4回設定	合格時間数1時間以上（対面1）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	考查範囲	報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～3	後期 1～3	考査日	前期	後期
回	学習内容（該当項目）	報告課題該当項目（新教科書）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	01ライフステージと健康～07中高年期と健康	教科書P.76～P.91	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2（木） ①集7/28（火）
2	08働くことと健康～04ごみの処理と上下水道の整備	教科書P.92～P.107	第2回 5月30日（土）	
3	05食品の安全性～11健康に関する環境づくりと社会参加	教科書P.110～P.127	第3回 6月15日（月）	
1	01ライフステージと健康～07中高年期と健康	教科書P.76～P.91	第1回 10月15日（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標12/3（木） ①集1/8（金）
2	08働くことと健康～04ごみの処理と上下水道の整備	教科書P.92～P.107	第2回 10月30日（金）	
3	05食品の安全性～11健康に関する環境づくりと社会参加	教科書P.110～P.127	第3回 11月15日（日）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 【生涯を通じる健康】 01ライフステージと健康 2. 本時の目標 ライフステージに応じた意志決定・行動選択の必要性を理解する

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解している。また、その技能を習得している
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持促進について理解し、明るく豊かな生活を目指す姿がある

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は1単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	1体育（履修モデル1年次）		単位数 2	永井 真弓
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体050-901・アクティブスポーツ2026
面接指導	12回設定	合格時間数10時間以上（メディア4・対面6）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	報告課題1回～2回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1～4	考查日	通年後期	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当ページ	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 1.スポーツの発祥と発展 01スポーツの始まりと変遷～03オリンピックとパラリンピックの意義	教科書P.136～P.147	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング
2	体育理論 1.スポーツの発祥と発展 04 スポーツが経済に及ぼす影響～06スポーツと環境	教科書P.148～P.156	第2回 5月30日（土）	①②③標7/10（金）
				①集7/27（月）
				②集7/28（火）
				③集7/29（水）
3	メディア視聴 柔道	アクティブスポーツ P.268 ～286	第3回 10月15日（木） メディア視聴報告書	後期 ・学校でのスクーリング
4	メディア視聴 剣道	アクティブスポーツ P.288 ～306	第4回 10月30日（金） メディア視聴報告書	④標10/23（金）
				⑤標11/6（金）
				⑥標12/4（金）
				④集1/5（火）
				⑤集1/6（水）
	※レポート 前期提出・合格の場合は後期提出不要			⑥集1/7（木）
	メディア視聴報告書は全4回提出する			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 体育理論 スポーツの発祥と発展 2. 本時の目標 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する
2時間	1. 単元（題材）名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
3時間	1. 単元（題材）名 武道 2. 本時の目標 伝統的な考え方・技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを身に付ける
4時間	1. 単元（題材）名 体育理論 スポーツの発祥と発展 2. 本時の目標 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する
5時間	1. 単元（題材）名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
6時間	1. 単元（題材）名 武道 2. 本時の目標 伝統的な考え方・技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを身に付ける

メディア視聴	学習内容
1時間	体育理論 01スポーツの始まりと変遷・02文化としてのスポーツ・03オリンピックとパラリンピックの意義 (第1回レポートと同一範囲)
2時間	体育理論 04スポーツが経済に及ぼす効果・05スポーツの高潔さとドーピング・06スポーツと環境 (第2回レポートと同一範囲)
3時間	柔道
4時間	剣道

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は10単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	2体育（履修モデル2年次）		単位数 3	田貝 明日香
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体701・アクティブスポーツ2025
面接指導	18回設定	合格時間数15時間以上（メディア5・対面10）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	考查範囲	報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年 1～9	考査日		通年後期	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当項目	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 2.運動・スポーツの学び方 <small>01スポーツにおける技能と体力～03技能の上達過程と練習</small>	教科書P.158～P.167	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング
2	体育理論 2.運動・スポーツの学び方 <small>04効果的な動きのメカニズム～06運動やスポーツでの安全の確保</small>	教科書P.168～P.180	第2回 5月30日（土）	①標5/21（木） ②標6/4（木）
3	バレーボール	アクティブスポーツ P.188～208	第3回 6月15日（月）	③標7/2（木） ①集7/27（月） ②集7/28（火） ③集7/29（水）
4	メディア視聴 テニス・ソフトテニス	アクティブスポーツ P.210～228	第4回 10月15日（木） メディア視聴報告書	後期 ・学校でのスクーリング
5	メディア視聴 サッカー	アクティブスポーツ P.144～165	第5回 10月30日（金） メディア視聴報告書	④標10/23（金） ⑤標11/6（金）
6	メディア視聴 ラグビー	アクティブスポーツ P.168～186	第6回 11月15日（日） メディア視聴報告書	⑥標12/4（金）
7	メディア視聴 バスケットボール	アクティブスポーツ P.102～124	第7回 11月30日（日） メディア視聴報告書	④集1/5（火） ⑤集1/6（水）
8	メディア視聴 卓球・バドミントン	アクティブスポーツ P.229～248	第8回 12月15日（火） メディア視聴報告書	⑥集1/7（木）
9	メディア視聴 ソフトボール	アクティブスポーツ P.249～260	第9回 12月25日（金） メディア視聴報告書	
	※レポート前期提出・合格の場合は後期提出不要			
	メディア視聴報告書は全9回提出する			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 体育理論 運動・スポーツの学び方 2. 本時の目標 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した行動を身に付ける
2時間	1. 単元（題材）名 体づくり運動 2. 本時の目標 運動する心地よさや仲間と関わる楽しさを味わい、健康維持のための体力を高める
3時間	1. 単元（題材）名 球技 2. 本時の目標 状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ
4時間	1. 単元（題材）名 体育理論 運動・スポーツの学び方 2. 本時の目標 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した行動を身に付ける
5時間	1. 単元（題材）名 体づくり運動 2. 本時の目標 運動する心地よさや仲間と関わる楽しさを味わい、健康維持のための体力を高める
6時間	1. 単元（題材）名 球技 2. 本時の目標 状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ

メディア視聴	学習内容
1時間	体育理論 01スポーツにおける技能と体力・02スポーツにおける技術と戦術・03技能の上達過程と練習 (第1回レポートと同一範囲)
2時間	体育理論 04効果的な動きのメカニズム・05体力トレーニング・06運動やスポーツでの安全の確保 (第2回レポートと同一範囲)
3時間	バレーボール (第3回レポートと同一範囲)
4時間	テニス・ソフトテニス
5時間	サッカー
6時間	ラグビー
7時間	バスケットボール
8時間	卓球・バドミントン
9時間	ソフトボール

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は15単位以上（メディア視聴9単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	3体育（履修モデル3年次）		単位数 2	中嶋 海久
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体701・アクティブスポーツ2025
面接指導	12回設定	合格時間数10時間以上（メディア4・対面6）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	報告課題1回～2回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年 1～4	考査日		通年後期	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当項目	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 3.豊かなスポーツライフの設計 01生涯スポーツの見方・考え方～04豊かなスポーツライフの創造	教科書P.182～P.195	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング
2	陸上競技	アクティブスポーツ P.44 ～64	第2回 5月30日（土）	①標5/21（木） ②標6/4（木） ③標7/2（木）
				①集7/27（月） ②集7/28（火） ③集7/29（水）
3	メディア視聴 水泳競技	アクティブスポーツ P.66 ～80	第3回 10月15日（木） メディア視聴報告書	後期 ・学校でのスクーリング
4	メディア視聴 器械運動	アクティブスポーツ P.82 ～100	第4回 10月30日（金） メディア視聴報告書	④標10/23（金） ⑤標11/6（金） ⑥標12/4（金）
				④集1/5（火） ⑤集1/6（水） ⑥集1/7（木）
	※レポート前期提出・合格の場合は後期提出不要			
	メディア視聴報告書は全4回提出する			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 体育理論 豊かなスポーツライフの設計 2. 本時の目標 豊かなスポーツライフの設計の仕方について課題を発見し、その解決を目指した行動を身に付ける
2時間	1. 単元（題材）名 バドミントン・卓球 2. 本時の目標 安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ
3時間	1. 単元（題材）名 ダンス 2. 本時の目標 仲間と踊ったり、ダンスの名称や用語、文化的背景などを理解する
4時間	1. 単元（題材）名 体育理論 豊かなスポーツライフの設計 2. 本時の目標 豊かなスポーツライフの設計の仕方について課題を発見し、その解決を目指した行動を身に付ける
5時間	1. 単元（題材）名 バドミントン・卓球 2. 本時の目標 安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ
6時間	1. 単元（題材）名 ダンス 2. 本時の目標 仲間と踊ったり、ダンスの名称や用語、文化的背景などを理解する

メディア視聴	学習内容
1時間	体育理論 01生涯スポーツの見方、考え方・02ライフスタイルに応じたスポーツ・03スポーツを推進する取り組み・04豊かなスポーツライフの創造 (第1回レポートと同一範囲)
2時間	陸上競技 (第2回レポートと同一範囲)
3時間	水泳競技
4時間	器械運動

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は10単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
芸術	書道Ⅰ	単位数 2	長谷川澄代
指導目標			
書道の幅広い活動を通して、書に対する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。			
1, 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上をはかる。			
2, 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。			
3, 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 書Ⅰ 002-901
面接指導	8回設定	合格時間数8時間以上（メディア4・対面4）	副教材 なし
報告課題（レポート）	全6回	A3 6枚	考查範囲 試験なし
定期考査	なし		評価 5段階評価
前期 1～6	後期 1～6		
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	書の美を楽しむ(巻頭)	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22（金） ②標7/3（金） ③④標7/17（金） ①集7/28（火） ②集7/29（水） ③④集7/30（木）
	書写から書道へ（P4～11）		
2	漢字の書（P12～16）	第2回 5月30日（土）	
	楷書（P17～41）		
3	行書（P42～62）	第3回 6月15日（月）	
	草書（P63～65）		
4	隸書（P66～69）	第4回 6月30日（火）	
	篆書（P70～73）		
5	仮名の書（P78～107）	第5回 7月15日（水）	
	漢字仮名交じりの書（P108～134）		
6	篆刻・刻字（P135～142）	第6回 7月24日（金）	
1	書の美を楽しむ(巻頭)	第1回 10月15日（木）	
	書写から書道へ（P4～11）		
2	漢字の書（P12～16）	第2回 10月30日（金）	
	楷書（P17～41）		
3	行書（P42～62）	第3回 11月15日（日）	
	草書（P63～65）		
4	隸書（P66～69）	第4回 11月30日（月）	
	篆書（P70～73）		
5	仮名の書（P78～107）	第5回 12月15日（火）	
	漢字仮名交じりの書（P108～134）		
6	篆刻・刻字（P135～142）	第6回 12月25日（金）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 書写から書道へ・古典に基づく学習（楷書） 2. 本時の目標 用具・用材の基本と配列を確認する 楷書の古典作品を鑑賞する 楷書の書風の違いについて理解し、その中から1作品を選び表現する
2時間	1. 単元（題材）名 漢字の成立と変遷・古典に基づく学習（篆書・隸書） 2. 本時の目標 漢字の成立と書体の変遷を学ぶ 篆書・隸書の古典作品を鑑賞する 篆書・隸書の基本的な字形、構成、用筆、運筆を学び、表現する
3時間	1. 単元（題材）名 漢字の成立と変遷・古典に基づく学習（草書・行書） 2. 本時の目標 草書、行書の成立について学び、運筆方法の基本を学ぶ
4時間	1. 単元（題材）名 生活の中の書・漢字かな交じりの書の表現 2. 本時の目標 生活の中の書（便箋、封筒、葉書）の書き方を学ぶ

メディア視聴	学習内容
4時間	書の美を楽しむ・書写から書道へ（巻頭～P11）【第1回レポートと同一範囲、一緒に提出】 漢字の書・楷書(P12～41) 【第2回レポートと同一範囲、一緒に提出】 行書・草書(P42～65) 【第3回レポートと同一範囲、一緒に提出】 隸書・篆書(P66～73) 【第4回レポートと同一範囲、一緒に提出】

評価観点	評価基準
知識・技能	目的や用途に応じた効果的な表現を理解している。書体や書風と用筆・運筆のかかわりを理解している 書の変遷や歴史を理解している
思考・判断・表現	作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる 書の伝統や文化の意味を考え、古典の書体や書風に即した用筆等を理解している
主体的に学習に 取り組む態度	各書体の良さや特徴を甘受し、作品の意味や価値について考えながら鑑賞している 各書体、書風の特徴に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること

教科	科目		担当者	
家庭科	家庭基礎		単位数 2	原 みさを
指導目標				
生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。				
1, 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に支え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、衣食住・消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図る。				
2, 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。				
3, 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 家基701
面接指導	8回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材	なし
報告課題(レポート)	全6回	A4(4枚~6枚)	考查範囲	報告課題1回~6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1~6	後期 1~6	考査日	前期	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート) 締切期日	面接指導(スクーリング) 日程	
1	第1章 生涯を見通す(P12~21)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①②標7/26(木) ①②集7/29(水) * 衣服の成り立ちから管理までを確認しよう。 * 繊維を使って小物を作ってみよう。	
	第2章 人生をつくる(P22~37)			
2	第3章 子どもと共に育つ(P38~63)	第2回 5月30日(土)		
	第4章 超高齢社会を共に生きる(P64~77)			
3	第5章 共に生き、共に支える(P78~85)	第3回 6月15日(月)		
	第6章 食生活をつくる(P86~127)			
4	第6章 食生活をつくる(P128~135)	第4回 6月30日(火)		
	第7章 衣生活をつくる(P136~165)			
5	第8章 住生活をつくる(P166~185)	第5回 7月15日(水)		
6	第9章 経済生活を営む(P186~205)	第6回 7月24日(金)		
	第10章 持続可能な生活を営む(P206~213)			
	第11章 これからの生活を創造する(P214~219)			
1	第1章 生涯を見通す(P12~21)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/6(金) ②標12/4(金) ①集1/5(火) ②集1/7(木) ・内容 * 衣服の成り立ちから管理までを確認しよう。 * 繊維を使って小物を作ってみよう。	
	第2章 人生をつくる(P22~37)			
2	第3章 子どもと共に育つ(P38~63)	第2回 10月30日(金)		
	第4章 超高齢社会を共に生きる(P64~77)			
3	第5章 共に生き、共に支える(P78~85)	第3回 11月15日(日)		
	第6章 食生活をつくる(P86~117)			
4	第6章 食生活をつくる(P118~133)	第4回 11月30日(月)		
	第7章 衣生活をつくる(P134~163)			
5	第8章 住生活をつくる(P164~183)	第5回 12月15日(火)		
6	第9章 経済生活を営む(P186~205)	第6回 12月25日(金)		
	第10章 持続可能な生活を営む(P206~213)			
	第11章 これからの生活を創造する(P214~219)			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 衣生活をつくる 2. 本時の目標 着用している衣服の表示を確認し、自立した責任ある消費者としての視点を学ぶ
2時間	1. 単元（題材）名 衣生活をつくる 2. 本時の目標 繊維・糸・布の構造を確認し、実際に小物づくりを行い特徴を理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	第2章「人生をつくる」 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 (P22～37) 《 第1回レポート後半と同一範囲、レポートと一緒に提出 》
2時間	第3章「子どもと共に育つ」 命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる (P38～63) 《 第2回レポート前半と同一範囲、レポートと一緒に提出 》

評価観点	評価基準
知識・技能	人の一生と家族および福祉などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け実践しようとしている
思考・判断・表現	生活の中に問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践しようとしている
主体的に学習に取り組む態度	様々な人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自らの生活の充実向上を実践しようとする態度が見られる

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
情報科	情報Ⅰ	単位数 2	名取 淳美
指導目標			
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 情Ⅰ701
面接指導	8回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日 前期	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容
1	1章 情報で問題を解決する	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/5(金) ②標6/19(金) ①集7/29(水) ②集7/30(木)
2	2章 情報を伝える	第2回 5月30日(土)	
3	3章 コンピュータを活用する	第3回 6月15日(月)	
4	4章 データを活用する	第4回 6月30日(火)	
5	5章 活動して提案する	第5回 7月15日(水)	
6	情報の応用とまとめ	第6回 7月24日(金)	
1	1章 情報で問題を解決する	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/6(金) ②標11/20(金) ①②集1/8(金)
2	2章 情報を伝える	第2回 10月30日(金)	
3	3章 コンピュータを活用する	第3回 11月15日(日)	
4	4章 データを活用する	第4回 11月30日(月)	
5	5章 活動して提案する	第5回 12月15日(火)	
6	情報の応用とまとめ	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元 情報で問題を解決する 情報モラルを把握し、デジタルでの情報伝達手段について学ぶ。Word活用 2. 本時の目標 デジタルの仕組み、コンピュータの演算の仕組みについて学ぶ。
2時間	1. 単元 情報データの活用や応用について学ぶ コミュニケーションの変化について学ぶ 2. 本時の目標 インターネットの仕組みやデータベースの活用や応用について学ぶ。Excel活用

メディア視聴	学習内容
2時間	1 回目…2章「情報を伝える」を200字程度でまとめる p 34~p57 (第2回レポートと同一範囲) 2回目…4章「データを活用する」を200字程度でまとめる p 90~ p 199 p 116 (第4回レポートと同一範囲)

評価観点	評価基準
知識・技能	情報と情報技術に関する基本的な知識と技能を身に付けている
思考・判断・表現	様々な事象を情報と結びつけて考察し、問題の発見・解決に向けて効果的に情報を活用する
主体的に学習に 取り組む態度	情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、望ましい情報社会を構築するために情報社会に主体的に参画しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
キャリア講座	ビジネス総合	単位数 2	萩原 憲治

指導目標

基礎から実践まで幅広くビジネスの知識を身につけ、将来の進路に役立てること目的とする。

1. ビジネスの諸活動に必要な知識、技術の取得。
2. インターネット等での「調べ学習」と「自分自身の考え」を重視し、社会課題への問題解決への興味をもたせる。
3. 個人や企業の社会的責任や、生徒自身が社会参画へ向けて人生を歩むきっかけになってもらう。
4. 実業教育の大きな目的の一つであるビジネススキルを保証するものとして、資格取得に興味をもたせ、知識・技術の習得が、人生の武器につながることを伝えていく。

メディア学習	なし		教科書	
面接指導	8回設定	合格時間数2時間以上(対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～6 後期 1～6 考査日 前期 後期

回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	ビジネスに必要な基礎知識(P3～)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/2(木) ②標7/16(木) ①集7/28(火) ②集7/29(水)
2	流通とマーケティング(P20～)	第2回 5月30日(土)	
3	簿記の仕組み(P30～)	第3回 6月15日(月)	
4	ビジネスコミュニケーション(P80～)	第4回 6月30日(火)	
5	ITとビジネス(P90～)	第5回 7月15日(水)	
6	企業モラルと社会的責任(P100～)	第6回 7月24日(金)	
1	ビジネスに必要な基礎知識(P3～)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標12/3(木) ②標12/17(木) ①集1/6(水) ②集1/7(木)
2	流通とマーケティング①(P20～)	第2回 10月30日(金)	
3	簿記の仕組み(P30～)	第3回 11月15日(日)	
4	ビジネスコミュニケーション(P80～)	第4回 11月30日(月)	
5	ITとビジネス(P90～)	第5回 12月15日(火)	
6	企業モラルと社会的責任(P100～)	第6回 12月25日(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 簿記の仕組み 2. 本時の目標 簿記の基本、や記帳などの知識や技術を習得する
2時間	1. 単元（題材）名 ビジネスコミュニケーション 2. 本時の目標 良好な人間関係を維持するために必要なビジネスマナーについて学ぶ

評価観点	評価基準
知識・技能	ビジネスに必要な専門用語の理解や記帳などの技術の習得
思考・判断・表現	商取引やビジネスの諸活動を理解し、適切な経営判断をおこなうための思考を学べているか
主体的に学習に取り組む態度	積極的、主体的に課題に取り組み、工夫をもってすすめているか

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
キャリア講座	スポーツ総論		単位数 2	永井 真弓
指導目標				
<p>社交場でのコミュニケーションとして、スポーツを取り入れることが多くあるため、スポーツを通じて他者との関わり方、規則の厳守、マナーなど、様々な社会性を身につける。</p> <p>ニュースポーツを通じて、新たな発見や規則の理解、他者との協力など、自らの学びを高める。また世界規模のスポーツ大会競技を自ら実施することで興味関心の広がるに繋げる</p>				
メディア学習	なし		教科書	
面接指導	16回設定	合格時間数4時間以上(対面4)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回~2回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1~4	後期 1~4	考查日	前期	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容	
1	スポーツコミュニケーション (ゴルフ・ダーツ)	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	スポーツコミュニケーション (モルック・ポッチャ)	第2回 5月30日(土)	①標5/7(木) ②標6/4(木) ③標6/18(木) ④標7/16(木)	
			①集7/27(月) ②集7/28(火) ③集7/29(水) ④集7/30(木)	
1	スポーツコミュニケーション (ゴルフ・ダーツ)	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
2	スポーツコミュニケーション (モルック・ポッチャ)	第2回 10月30日(金)	①標10/8(木) ②標11/5(木) ③標11/19(木) ④標12/17(木)	
			①集1/5(火) ②③集1/6(水) ④集1/8(金)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 スポーツコミュニケーション ゴルフ・パターゴルフ 2. 本時の目標 スポーツを通して社会性を身に付ける
2時間	1. 単元（題材）名 スポーツコミュニケーション ダーツ 2. 本時の目標 スポーツを通して社会性を身に付ける
3時間	1. 単元（題材）名 ニュースポーツ モルック 2. 本時の目標 規則や新たな感性を高める
4時間	1. 単元（題材）名 ニュースポーツ ボッチャ 2. 本時の目標 規則や新たな感性を高める

評価観点	評価基準
知識・技能	スポーツの歴史・文化的特性・スポーツとの関わり方について理解している
思考・判断・表現	自己や仲間の課題に応じて運動を継続するための工夫ができている
主体的に学習に 取り組む態度	スポーツを楽しむと同時に、協力しながらフェアな行動をしようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
キャリア講座	文書表現		単位数 2	丸山 洋史
指導目標				
<p>自らを把握し、他者に向けて表現する能力を高めることは、キャリア形成にとって極めて重要である。自らの問題意識と能力、そしてキャリアを志望校・志望企業に伝えると同時に、自らの意欲と成長を的確に表現できる力を養う。また、文書のみならず、口頭での表現力向上も企図する。</p> <p>1、履歴書・志望理由書作成に必要な文章表現能力を修得する。</p> <p>2、論理的に考える力と、的確に表現する力を身に付ける。また、他者に的確に自分の能力を伝え、相互に理解する力を身に付ける</p>				
メディア学習	なし		教科書	なし
面接指導	8回設定	合格時間数2時間以上(対面2)	副教材	プリント教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	試験なし
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1~6	後期 1~6	考査日	前期	後期
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容	
1	国語力アップ①と読解力を高めよう P.2~P.7	第1回 5月15日(金)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	国語力アップ②と文章表現の原則を修得	第2回 5月30日(土)	①標5/7(木) ②標6/18(木)	
3	国語力アップ③とパラグラフ・ライティングと要約 P.14~P.20	第3回 6月15日(月)	①集7/28(火) ②集7/29(水)	
4	国語力アップ④とクリティカル・シンキング入門 P.21~P.24	第4回 6月30日(火)		
5	国語力アップ⑤と小論文の基礎知識:構想を練ろう P.25~P.29	第5回 7月15日(水)		
6	国語力アップ⑥と自己推薦書作成演習 P.31~P.35	第6回 7月24日(金)		
1	国語力アップ①と読解力を高めよう P.2~P.7	第1回 10月15日(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
2	国語力アップ②と文章表現の原則を修得	第2回 10月30日(金)	①標10/8(木) ②標11/19(木)	
3	国語力アップ③とパラグラフ・ライティングと要約 P.14~P.20	第3回 11月15日(日)	①集1/5(火) ②集1/6(水)	
4	国語力アップ④とクリティカル・シンキング入門 P.21~P.24	第4回 11月30日(月)		
5	国語力アップ⑤と小論文の基礎知識:構想を練ろう P.25~P.29	第5回 12月15日(火)		
6	国語力アップ⑥と自己推薦書作成演習 P.31~P.35	第6回 12月25日(金)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 パラグラフ・ライティングと要約 2. 本時の目標 パラグラフ・ライティングを学び、的確な要約能力を修得しうる
2時間	1. 単元（題材）名 自己推薦書作成演習 2. 本時の目標 的確な自己分析をもとに、自己推薦書を作成する

評価観点	評価基準
知識・技能	語彙を増やし、的確に表現できる力を身に付けている
思考・判断・表現	文書表現の原則を活用し、他者にわかりやすく効果的に情報を伝える能力を獲得している。
主体的に学習に 取り組む態度	積極的に自らの考えをまとめ、他者に示そうとしている。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
総合探究	1総合的な探究（履修モデル1年次）	単位数 1	丸山 洋史
指導目標			
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。			
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。			
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向ける態度を養う。			
メディア学習	なし	教科書	なし
面接指導	8回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲
定期考査	なし	評価	なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日	
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	身の回りにある商品を探究する（P.7～）	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/3（金） ②標7/17（金） ①集7/27（月） ②集7/29（水）
2	昔話を探究する 地域の昔話（P.13～）	第2回 5月30日（土）	
1	身の回りにある商品を探究する（P.7～）	第1回 10月15日（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/9（金） ②標12/18（金） ①集1/5（月） ②集1/6（水）
2	昔話を探究する 地域の昔話（P.13～）	第2回 10月30日（金）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 身の回りにある商品を探る チョコレートのパッケージから 2. 本時の目標 SDGs に対する探るを身近なチョコレートを題材に行う
2時間	1. 単元（題材）名 昔話を探る 地域の昔話からはじまる探る 2. 本時の目標 地域に伝わる昔話を用いて、地域探ると史的な視点をもった探るを深める

評価観点	評価基準
知識・技能	探るのプロセスを理する、的確な知識を得る方法を理する
思考・判断・表現	複雑な問題の中から、適切に課題を設定できる
主体的に学習に取り組む態度	仮説を立て、自ら真摯に探るしようと様々な情報を獲得し、主体的に思考している

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

教科	科目		担当者
総合探究	2総合的な探究（履修モデル2年次）	単位数 1	丸山 洋史
指導目標			
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。			
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。			
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向ける態度を養う。			
メディア学習	なし		教科書
面接指導	8回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲
定期考査	なし		評価
なし	なし	なし	試験なし
なし	なし	なし	なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日	
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程と内容
1	身近にあふれるプラスチックを探究する（P.13～）	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/21（木） ②標7/16（木） ①集7/28（火） ②集7/29（水）
2	進路探究に向けて（P.17～）	第2回 5月30日（土）	
1	身近にあふれるプラスチックを探究する（P.13～）	第1回 10月15日（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/22（木） ②標12/17（木） ①集1/5（火） ②集1/8（金）
2	進路探究に向けて（P.17～）	第2回 10月30日（金）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 身近にあふれるプラスチックを探究する 2. 本時の目標 SDGs に対する探究をマイクロプラスチックを題材に行う
2時間	1. 単元（題材）名 進路探究に向けて 自己理解と進路探究 2. 本時の目標 進路探究の端緒として、自己理解を深める

評価観点	評価基準
知識・技能	探究の手法を活用し、社会課題に対して適切な見方で解決への方策をさぐることができる
思考・判断・表現	複雑な問題の中から、適切に課題を設定できる 自己理解を深め、自らの適性を理解している
主体的に学習に取り組む態度	探究活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 自己の良さを自ら認識し、社会の中で活躍する意志をもっている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

教科	科目		担当者
総合探究	3総合的な探究（履修モデル3年次）	単位数 1	丸山 洋史
指導目標			
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。			
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現することができるようにする。			
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向ける態度を養う。			
メディア学習	なし	教科書	なし
面接指導	8回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲
定期考査	なし	評価	なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日	
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程と内容
1	職業と私を探究する（P.20～）	第1回 5月15日（金）	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/4（木） ②標7/16（木） ①集7/27（月） ②集7/29（水）
2	社会と私を探究する（P.26～）	第2回 5月30日（土）	
1	職業と私を探究する（P.20～）	第1回 10月15日（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標12/3（木） ②標12/17（木） ①②集1/7（木）
2	社会と私を探究する（P.26～）	第2回 10月30日（金）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 職業と私を探究する 2. 本時の目標 職業探究を通して、自分自身の適性に対する理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 社会と私を探究する 2. 本時の目標 自己の適性と社会との接点を探究する

評価観点	評価基準
知識・技能	探究の手法を活用し、論理的に文章化して表現する力を身に付けている
思考・判断・表現	意図に応じて論理的に表現する力を身に付けている 社会課題に対して幅広い視野で理解することができる
主体的に学習に取り組む態度	探究活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、社会の一員としての自覚をもち、より良い社会を構築しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

2026年度 特別活動

1. ショートホームルーム(SHR)

・面接日にSHRがあります。SHRは連絡事項伝達の間であると同時に、友人形成の間でもあります。

2. 学校行事

・健全な発達をはかり、よりよい学校生活を送るために学校行事があります。積極的に参加しましょう。

3. 出席確認・その他

- ・出席確認は、面接指導と同様に行います。
- ・行事の中には、事前の申し込みが必要なもの、別途料金が必要になるものがあります。事前にお知らせします。
- ・特別活動には、オンライン（メタバースを利用します）で行われるものがあります。その際の出席確認は活動の中で指示します。

松商学園高校通信制課程 2026年度特別活動一覧

期	期日		備考
通年		SHR	
不定期		インターンシップ	2026年度は9月実施
前期	4月 6日(月)	前期入学式	
	4月 9日(木)	在校生オリエンテーション	
	4月10日(金)	新入生オリエンテーション	
	4月16日(木)	自然体験学習	野尻湖ナウマンゾウ博物館
	5月14日(木)	学習会	
	5月15日(金)	学習会	
	5月19日(火)	プログラミングの基礎 スクラッチに挑戦	松本大学総合経営学部 室谷ゼミ
	5月23日(土)	自然体験学習	国営アルプス安曇野公園
	5月26日(火)	ピアサポート①リレーション作り	松本大学教育学部 下山ゼミ
	5月28日(木)	学習会	
	5月29日(金)	学習会	
	6月 2日(火)	ピアサポート②傾聴スキル	松本大学教育学部 下山ゼミ
	6月 8日(月)	学習会	
6月 9日(火)	ピアサポート③アンガーマネジメント	松本大学教育学部 下山ゼミ	

前期	6月16日(火)	ピアサポート④アサーション	松本大学教育学部 下山ゼミ
	6月27日(土)	松本を知る!城下町フィールドワーク	松本大学地域づくり考房「ゆめ」主催行事
	6月30日(火)	マスチャンネル	松本大学教育学部 佐藤ゼミ
	7月23日(木)	学習会	
	7月24日(金)	学習会	
	8月18日(火)	防災① 新村キャンパス避難訓練	講師 松本広域消防
	9月1日(火)	転入生履修オリエンテーション	
	9月15日(火)	在校生履修オリエンテーション	
	9月16日(水)	在校生履修オリエンテーション	
	9月25日(金)	転入生履修オリエンテーション 防災② 防災食づくり	講師 松本市炊き出し隊みらい 浅田修吉氏
後期	10月1日(木)	後期入学式	
	10月16日(金)	転入生オリエンテーション	
	10月17日(土)	梓乃森祭	松本大学 大学祭
	11月2日(月)	転入生履修オリエンテーション	
	12月1日(火)	転入生履修オリエンテーション	
	12月24日(木)	学習会	
	12月25日(金)	学習会	
	2月18日(木)	履修相談会	
	2月19日(金)	進路ガイダンス	松本市勤労者福祉センター
	2月25日(木)	履修相談会	
	3月5日(金)	後期卒業式	
	3月11日(木)	新3年生履修オリエンテーション	
	3月12日(金)	新2年生履修オリエンテーション	